

3 消雪用等地下水利用実態調査結果の概要

1 調査の概要

県内において、消雪設備や工場・事業場等で利用される地下水の実態を把握するため、県下平野部全域を対象に、令和3年度の地下水揚水量等の実態を調査しました。

2 調査内容

(1) 調査対象地域

地域区分	市町村
黒部地域	黒部市、入善町、朝日町
魚津・滑川地域	魚津市、滑川市
富山地域	富山市、舟橋村、上市町、立山町
高岡・砺波地域	高岡市、射水市、砺波市、小矢部市、南砺市
氷見地域	氷見市

(2) 調査方法

- ① 地下水揚水量調査の集計・解析 5,025 件
- ② 地下水保全等に関する意識調査の集計・解析 1,968 件

3 地下水揚水量調査結果

(1) 揚水量

① 地下水区別

令和3年度における地下水揚水量の実績（以下「R3実績」という。）は表1のとおり、合計200.6百万m³/年であり、前回調査した平成27年度実績（以下「H27実績」という。）と比較すると13.2百万m³/年増加（+7%）していました。

県内平野部5地域で見ると、富山地域が97.0百万m³/年（48%）で最も多く、次いで高岡・砺波地域が48.6百万m³/年（24%）、黒部地域が29.9百万m³/年（15%）の順でした。

また、県内平野部を17の地下水区で区分したところ、最も揚水量が多いのは富山地域の扇頂部・扇央部の50.1百万m³/年、次いで高岡・砺波地域の25.4百万m³/年でした。

なお、適正揚水量に対するR3実績の占める比率が最も大きいのは富山地域の扇頂部・扇央部（72%）、市街地部（70%）、扇端部（67%）の順で、すべての地下水区で適正揚水量を下回っていました。

表 3 - 1 消雪用等地下水利用実態調査結果（地下水区別）

地下水区		年度	平成 27 年度 実績 (前回調査)	令和 3 年度 実績	適正揚水量	令和 3 年度 実績 ／適正揚水量
			(千 m ³ /年)	(千 m ³ /年)	(千 m ³ /年)	(%)
氷見地域	氷見地区		860	909	5,400	17 %
高岡・砺波地域	海岸部		3,230	3,498	12,200	29 %
	市街地部		3,946	5,702	18,900	30 %
	扇端部		9,458	10,868	22,800	48 %
	扇中部		21,523	25,402	62,200	41 %
	扇頂部		2,375	3,159	7,500	42 %
富山地域	海岸部		10,909	12,397	22,200	56 %
	市街地部		17,796	22,522	32,400	70 %
	扇端部		11,363	11,906	17,800	67 %
	扇頂部・扇中部		48,835	50,150	70,000	72 %
魚津・滑川地域	滑川地区		11,044	9,502	17,600	54 %
	魚津地区		14,361	14,605	31,700	46 %
黒部地域	海岸部		11,414	10,958	40,900	27 %
	市街地部		1,795	1,943	8,200	24 %
	扇端部		9,457	8,553	37,700	23 %
	扇頂部・扇中部		4,454	4,118	18,500	22 %
	小川右岸部		4,560	4,376	21,200	21 %
合計			187,378	200,567	447,200	45 %

注) 四捨五入により、合計が一致しない場合があります。

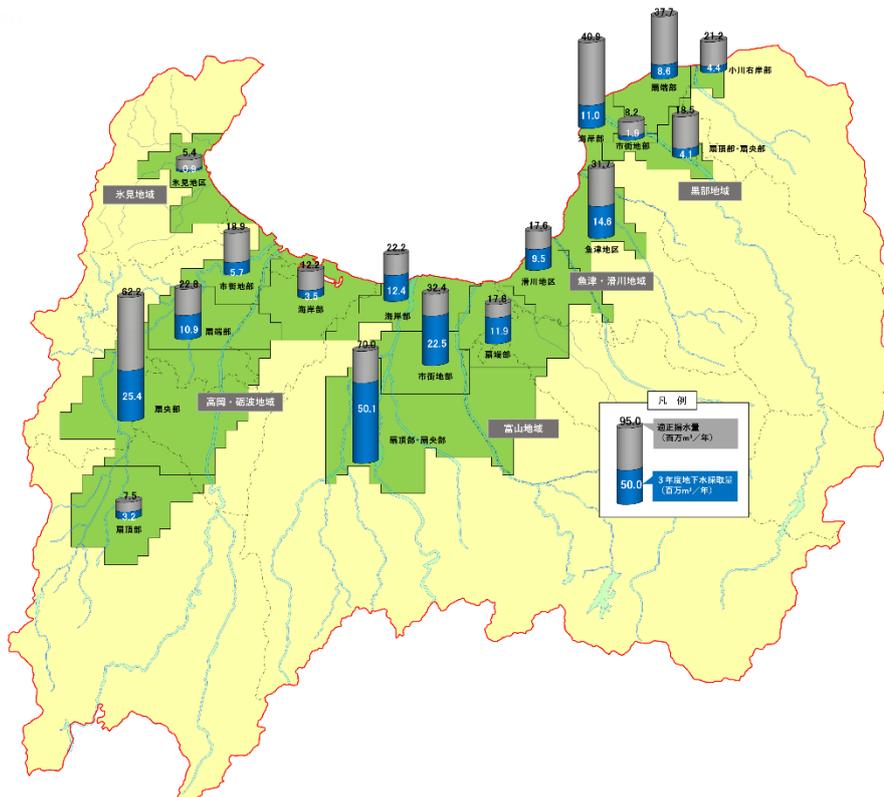


図 3 - 1 令和 3 年度地下水揚水量と適正揚水量

なお、5 kmメッシュ別に集計した年間の揚水量実績は図3-2のとおりです。

単位：千m³/年

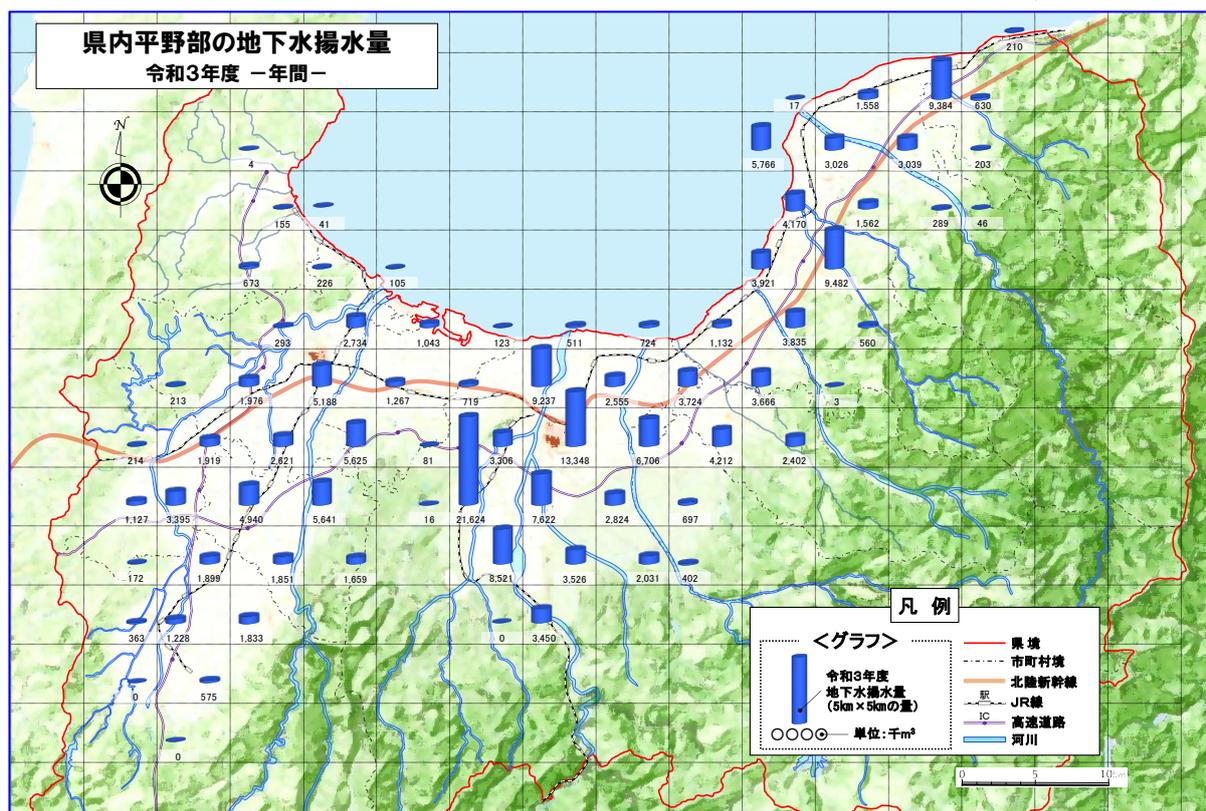


図3-2 【年間】地下水揚水量（令和3年度実績）

② 市町村別

市町村別の揚水量は表3-2のとおりであり、富山市が85.7百万m³/年(43%)で最も多く、次いで高岡市15.4百万m³/年(8%)、砺波市14.8百万m³/年(7%)の順でした。

③ 用途別

用途別の揚水量は表3-2及び図3-3のとおりであり、工業用が88.1百万m³/年(44%)で最も多く、次いで消雪用43.1百万m³/年(22%)、水道用39.9百万m³/年(20%)の順でした。

前回結果と比較すると、消雪用が+18.7百万m³/年(+77%)と大きく増加しましたが、工業用は-5.4百万m³/年(-7%)と減少し、全体では、+13.2百万m³/年(+7%)増加しました。

表 3 - 2 地下水揚水量実態調査結果（市町村別・用途別）

	工業用	建築物用	水道用	農業・ 水産業用	消雪用	合計
	(千 m ³ /年)					
富山市	38,383	9,713	13,693	1,871	22,007	85,667
高岡市	4,404	4,063	802	425	5,727	15,420
魚津市	7,578	941	5,166	242	679	14,605
氷見市	755	102	0	4	47	909
滑川市	2,871	200	5,730	171	529	9,502
黒部市	7,760	462	4,399	5	1,170	13,796
砺波市	5,580	1,878	2,494	169	4,713	14,833
小矢部市	3,625	191	679	0	939	5,434
南砺市	1,447	512	386	11	2,759	5,115
射水市	1,288	885	174	3,606	1,871	7,825
舟橋村	141	0	0	0	180	321
上市町	2,758	135	2,371	475	1,218	6,956
立山町	2,227	480	971	0	352	4,030
入善町	7,076	883	1,454	1,767	518	11,697
朝日町	2,249	267	1,591	0	349	4,456
合計	88,141	20,712	39,910	8,745	43,059	200,567
H27 実績	93,496	21,318	40,357	7,879	24,328	187,378
増減率	-6 %	-3 %	-1 %	+11 %	+77 %	+7 %

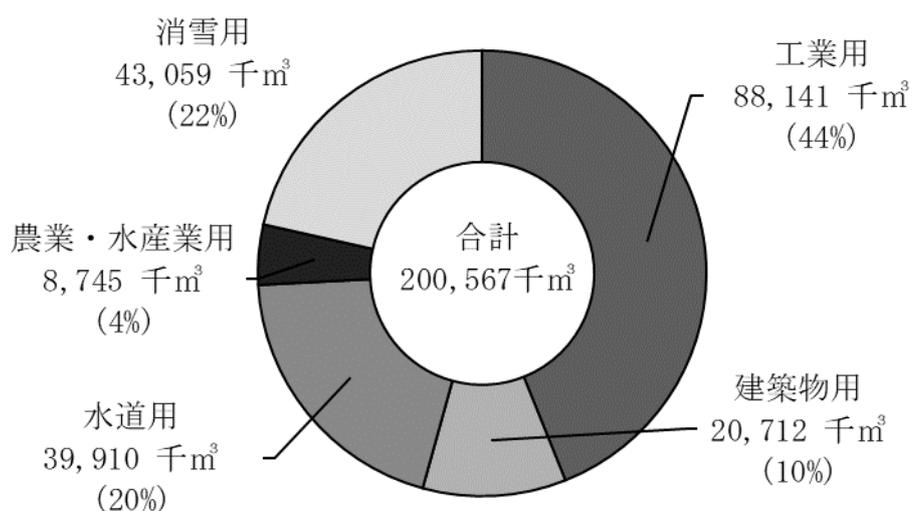


図 3 - 3 用途別地下水揚水量
(令和 3 年度実績)

④ 季節別

季節別の揚水量は、冬期が86.5百万m³/年(43%)で最も多く、次いで春期39.2百万m³/年(20%)、夏期38.7百万m³/年(19%)、秋期36.1百万m³/年(18%)の順であり、冬期は消雪用に利用されるため、他の時期の2倍超の揚水量となっていました。

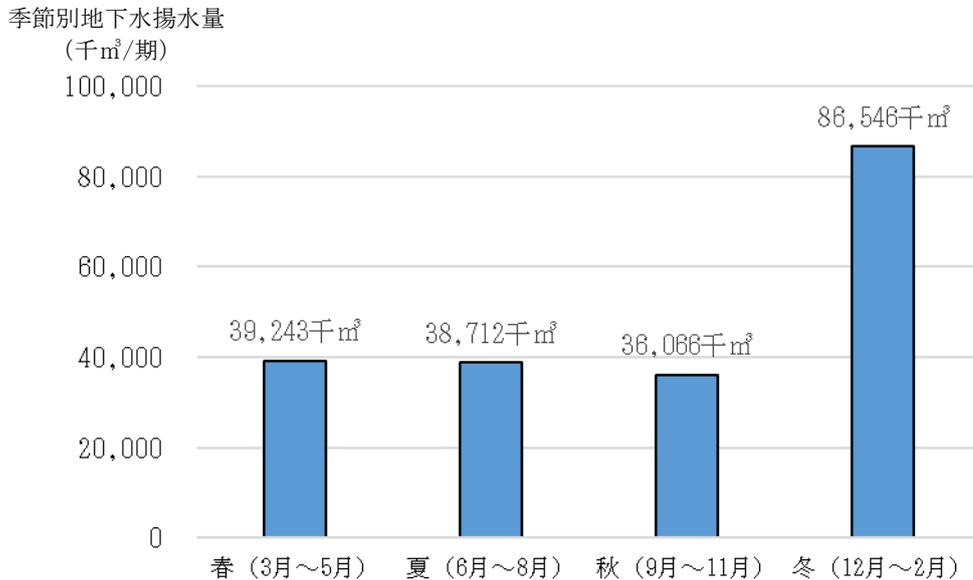


図3-4 用途別地下水揚水量 (令和3年度実績)

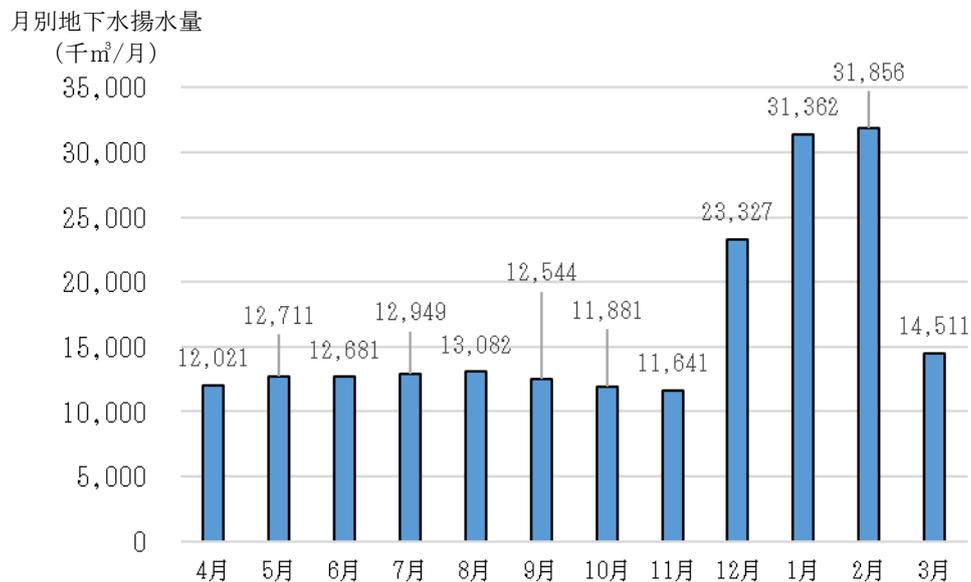


図3-5 月別地下水揚水量 (令和3年度実績)

なお、季節ごとに5 kmメッシュ別に集計した揚水量は図3-6から図3-9のとおりです。

単位：千m³/年

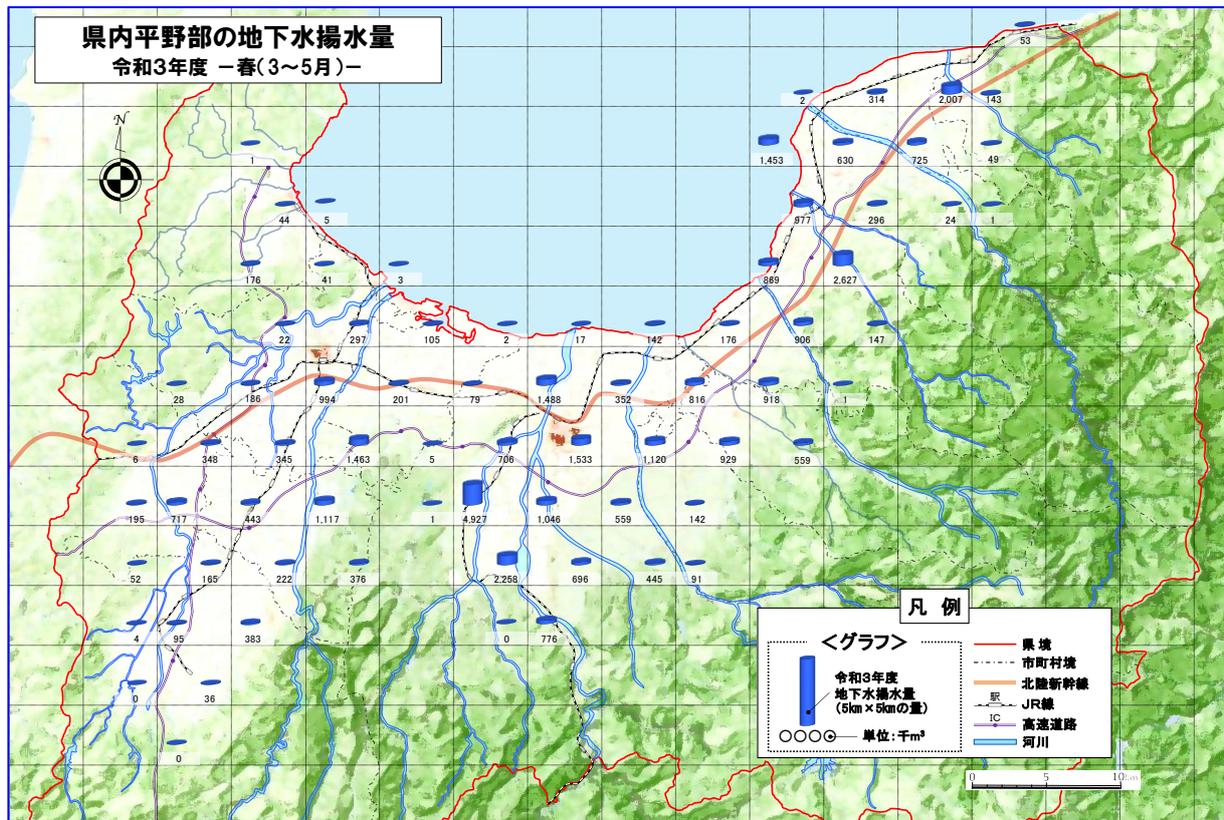


図3-6 春(3~5月)の地下水揚水量

単位：千m³/年

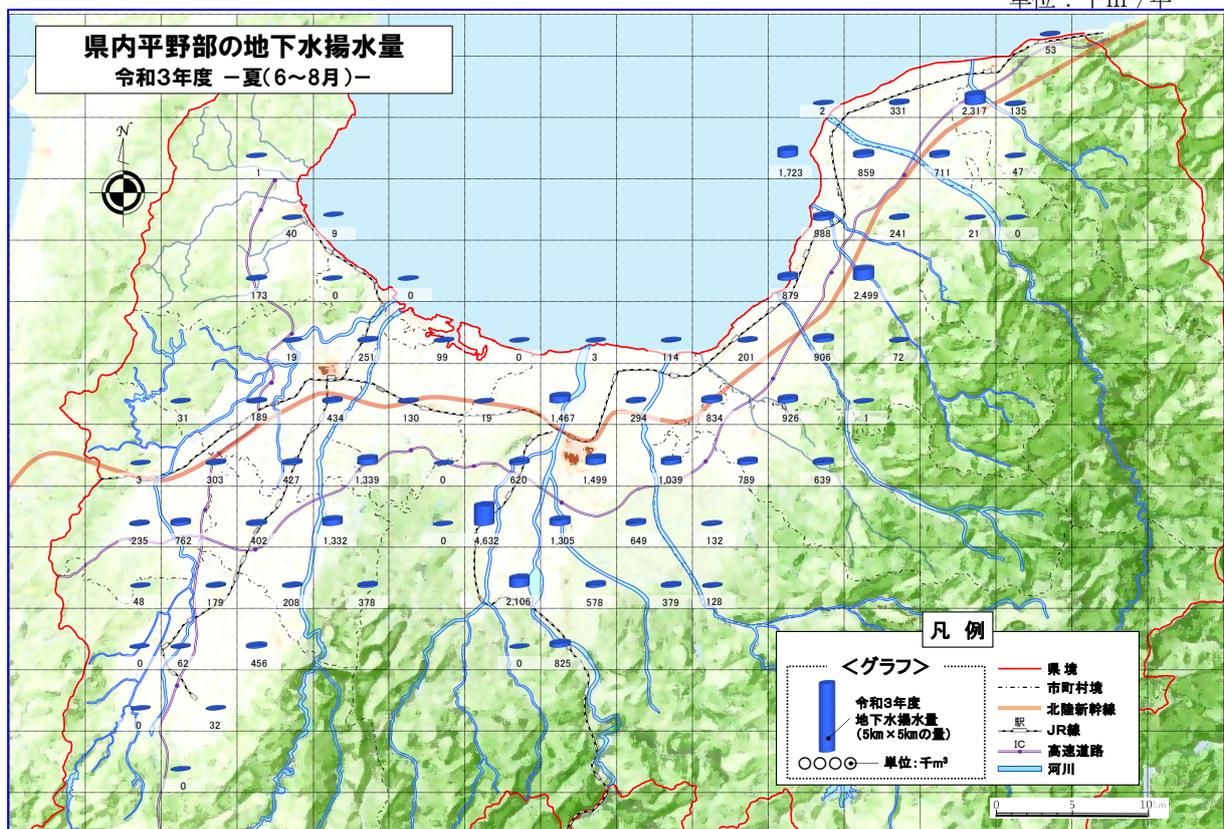


図3-7 夏(6~8月)の地下水揚水量

単位：千m³/年

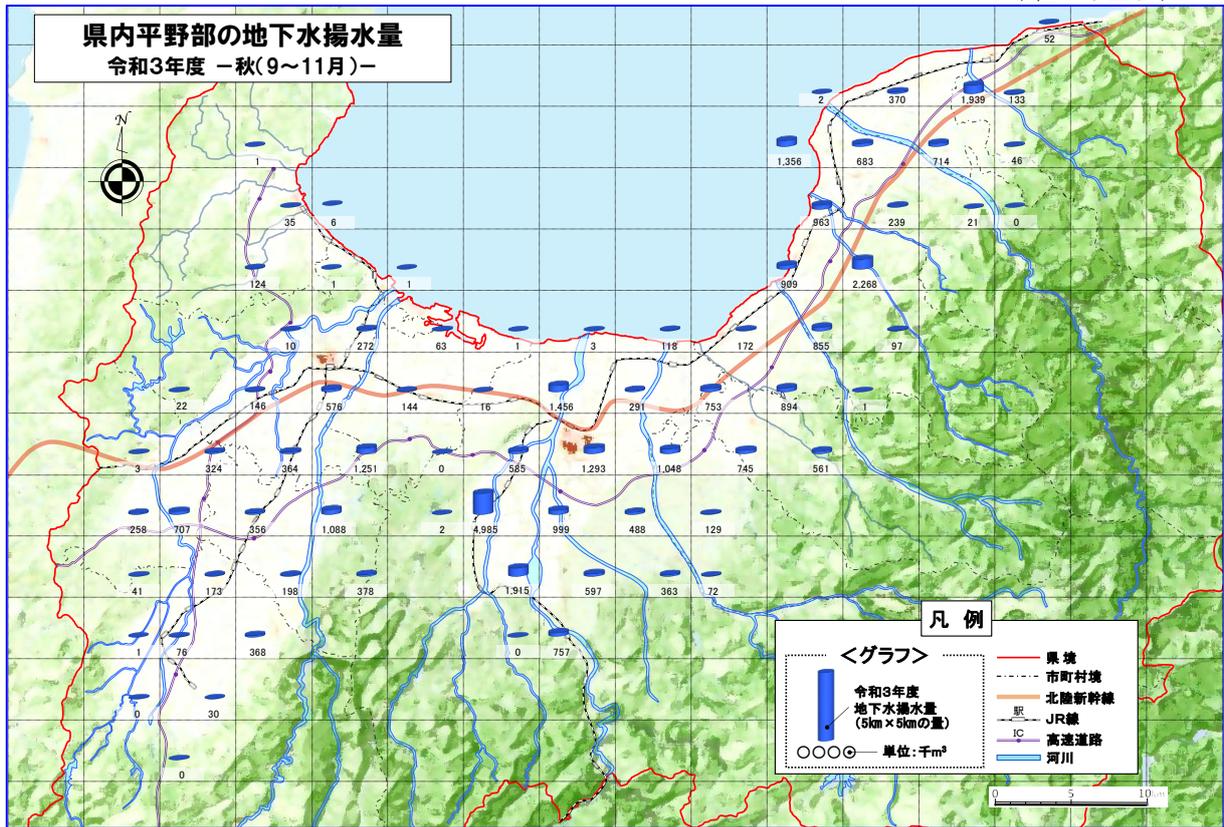


図3-8 秋(9~11月)の揚水量

単位：千m³/年

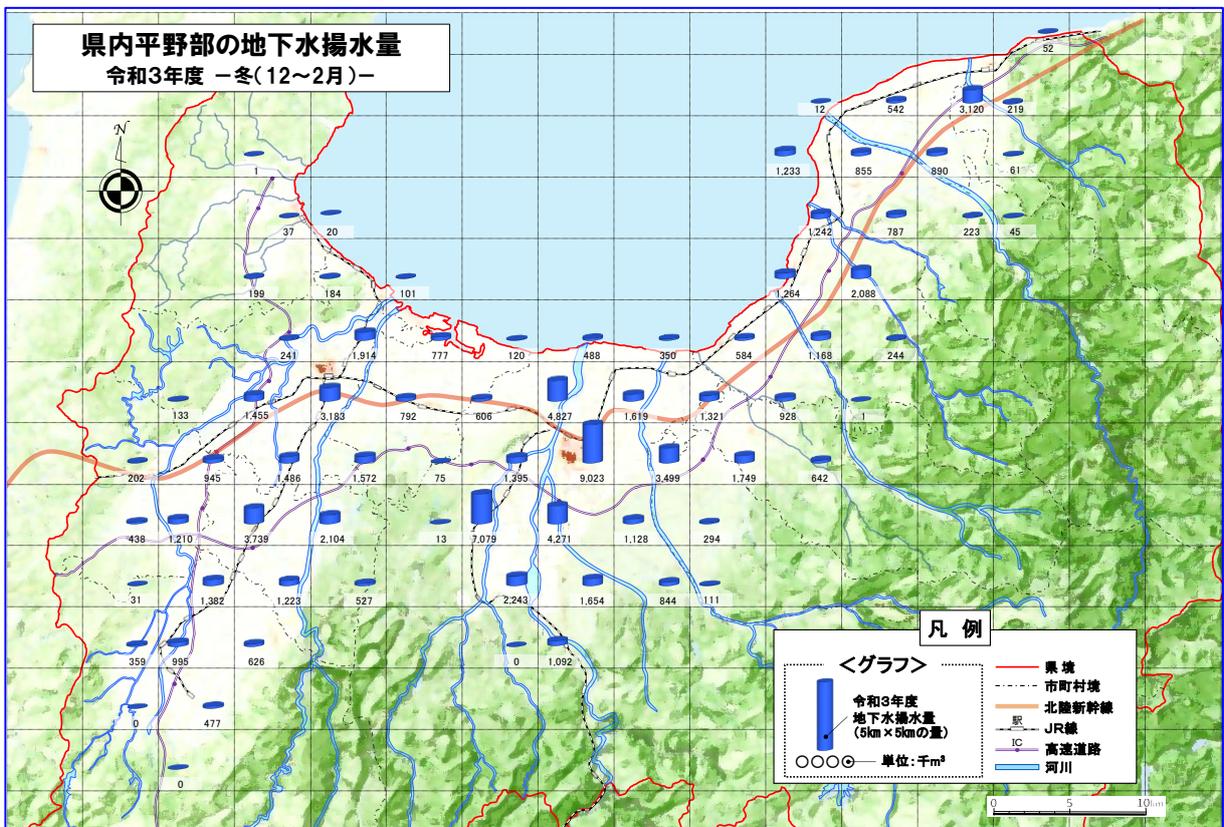


図3-9 冬(12~2月)の揚水量

(2) 揚水設備数

令和3年度における揚水設備の設置数は図3-10のとおり5,025基であり、前回調査と比較して720基減少していました。

用途別にみると、消雪用が2,497基（50%）と最も多く、次いで建築物用が1,256基（25%）、工業用が781基（16%）の順でした。

前回調査と比較して、最も増加したのは消雪用121基（+5%）であり、また、最も減少したのは建築物用575基（-31%）でした。

なお、5kmメッシュ別に集計した揚水設備の設置数は図3-11のとおりです。

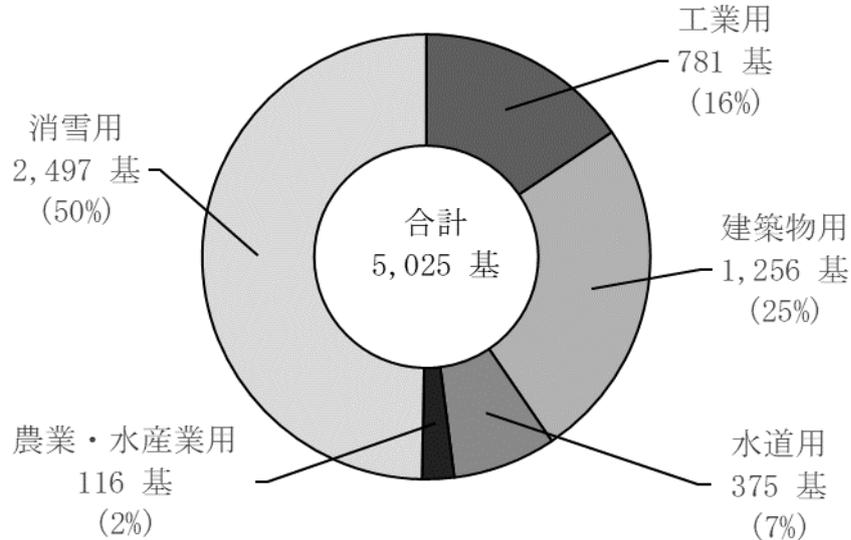


図3-10 用途別揚水設備数
(令和3年度)

単位：基

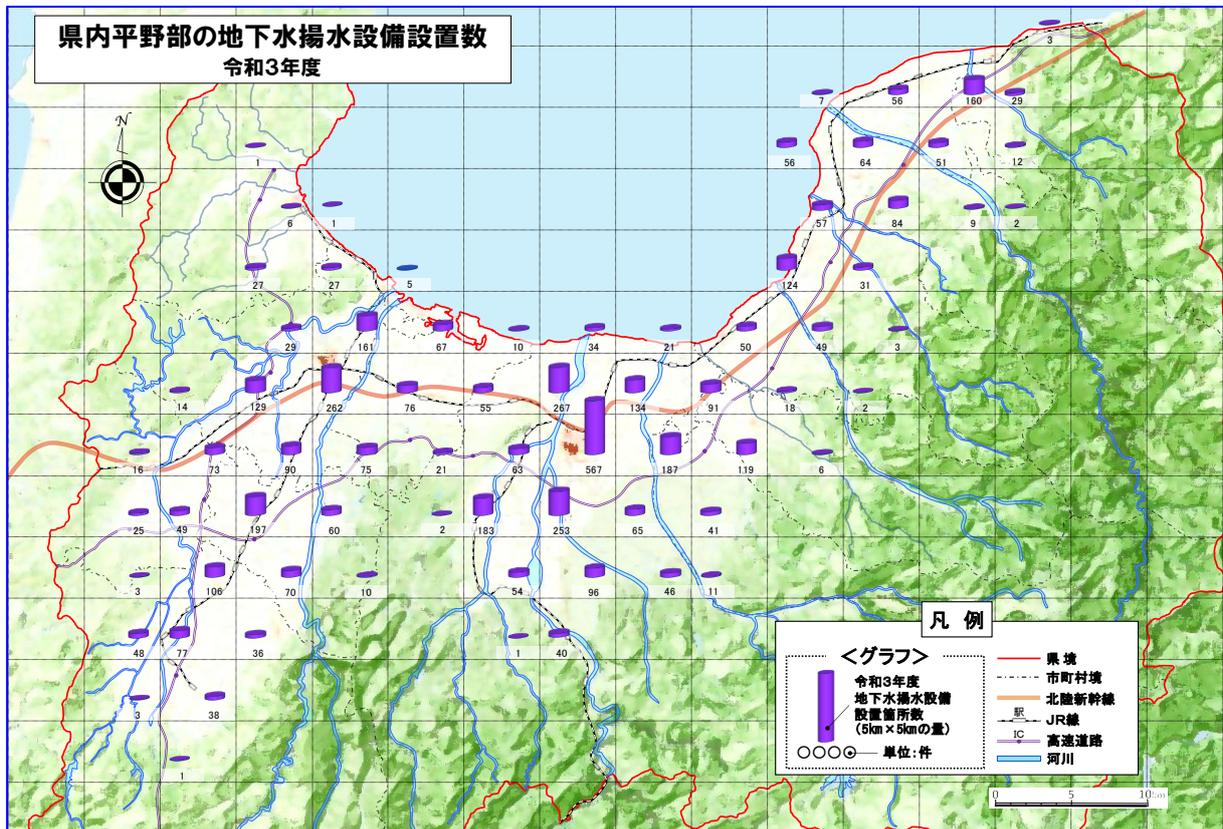
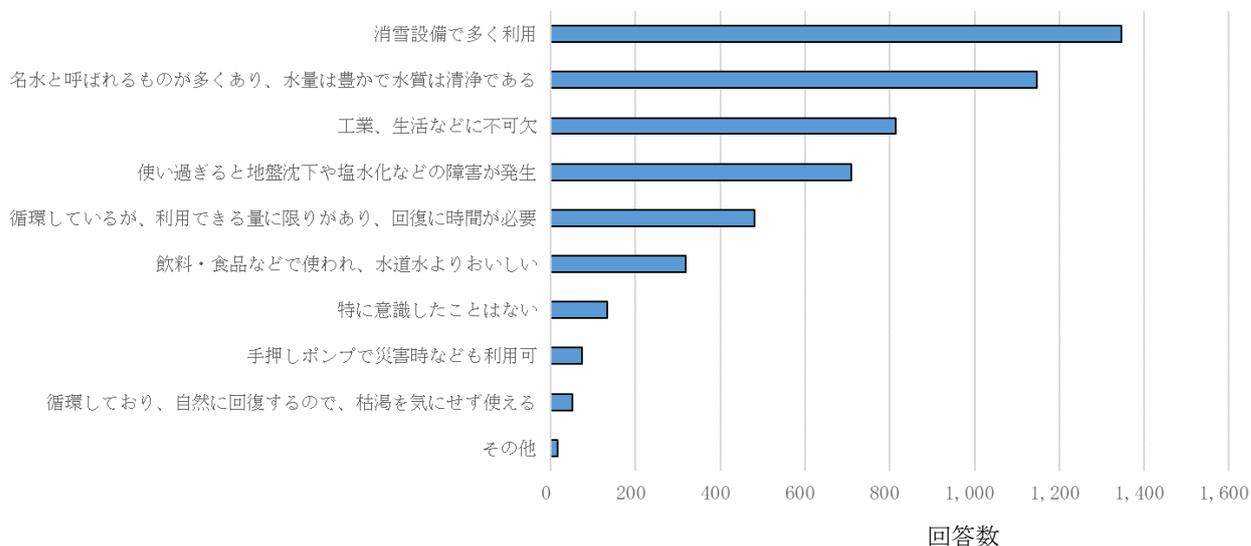


図3-11 揚水設備設置数

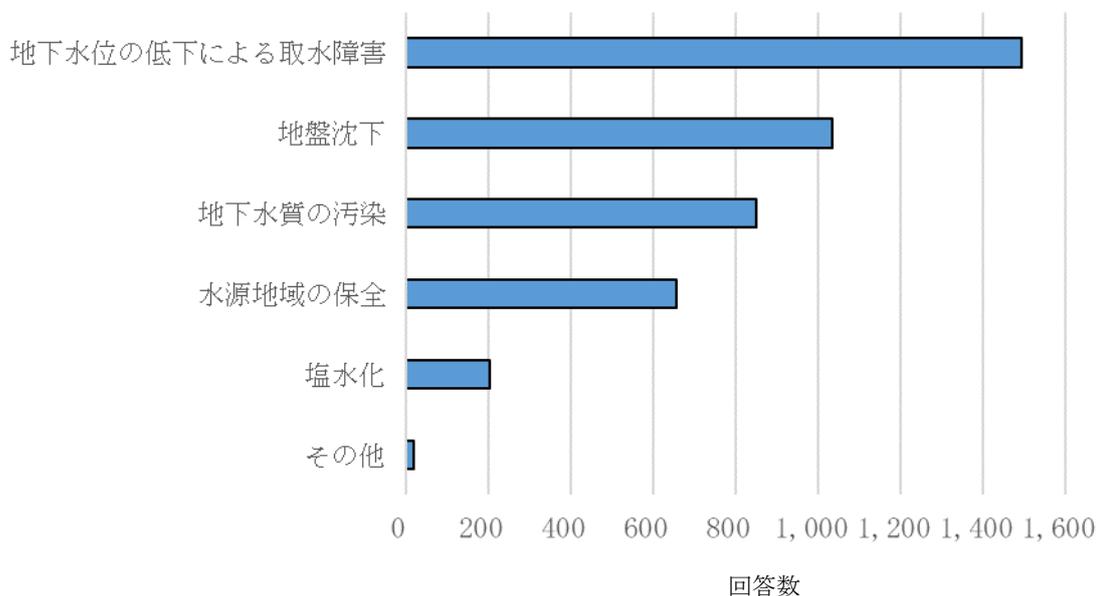
4 地下水保全等に関する意識調査結果

地下水保全等に関する意識調査の結果は次のとおりでした。

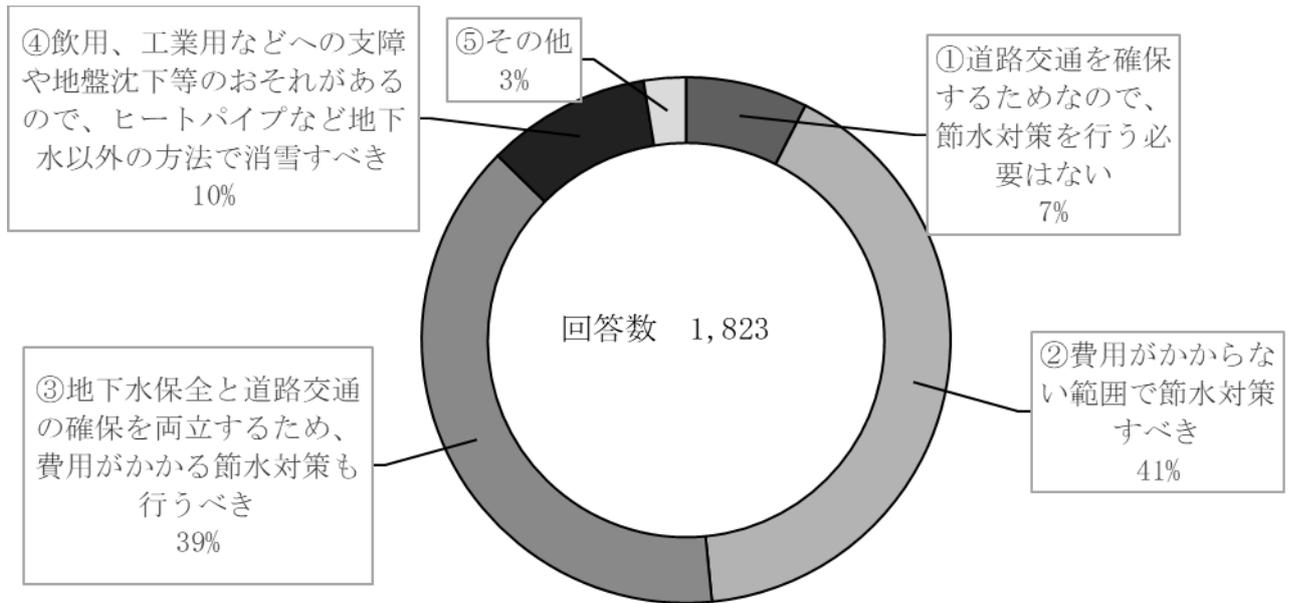
(1) とやまの地下水についてどのようにお考えですか。(3つ選択)



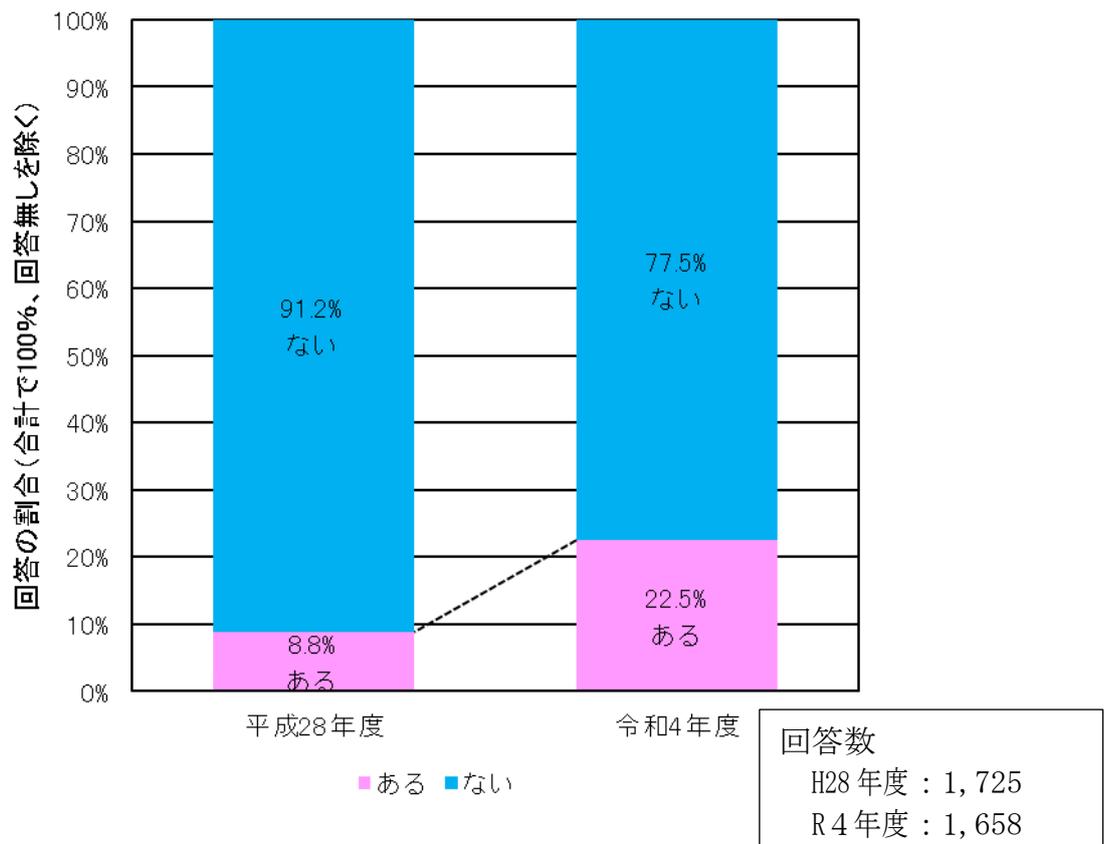
(2) 地下水に関する問題のうち最も関心のあるものはどれですか。(3つ選択)

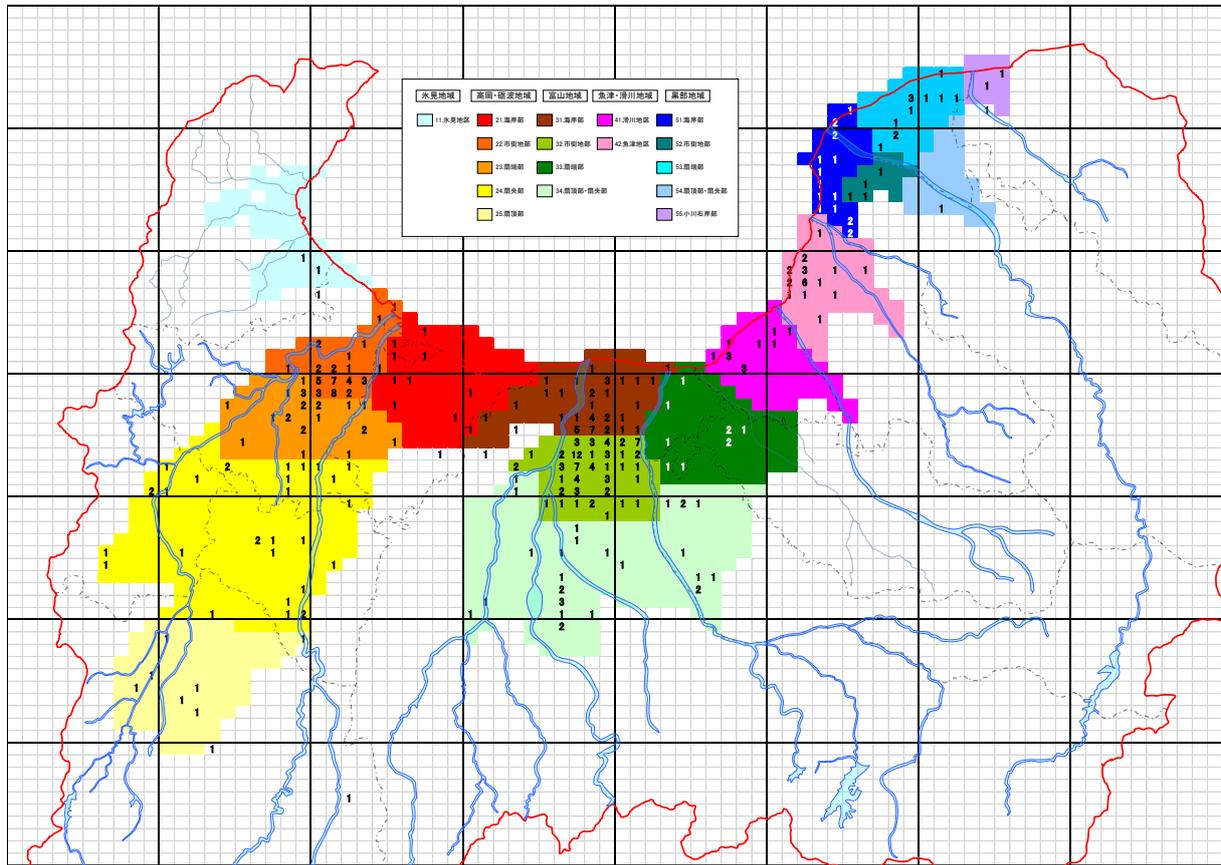


(3) 地下水を利用する消雪設備の節水についてどのようにお考えですか。



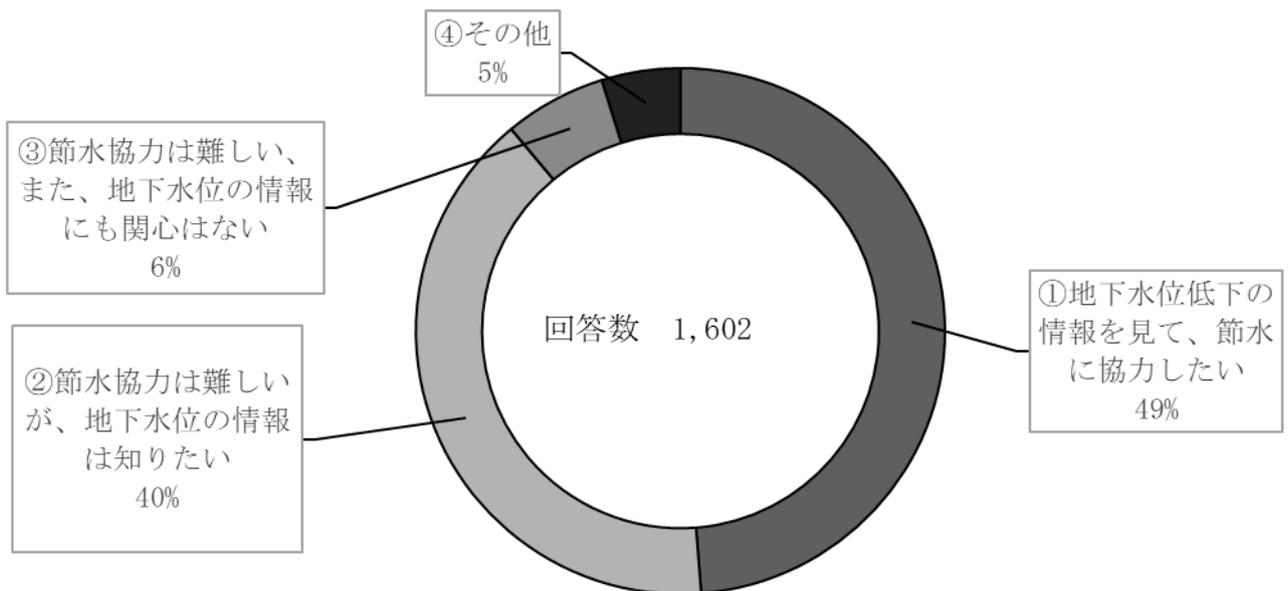
(4) 地下水を利用して、出にくくなるなどの障害が発生したことはありますか。



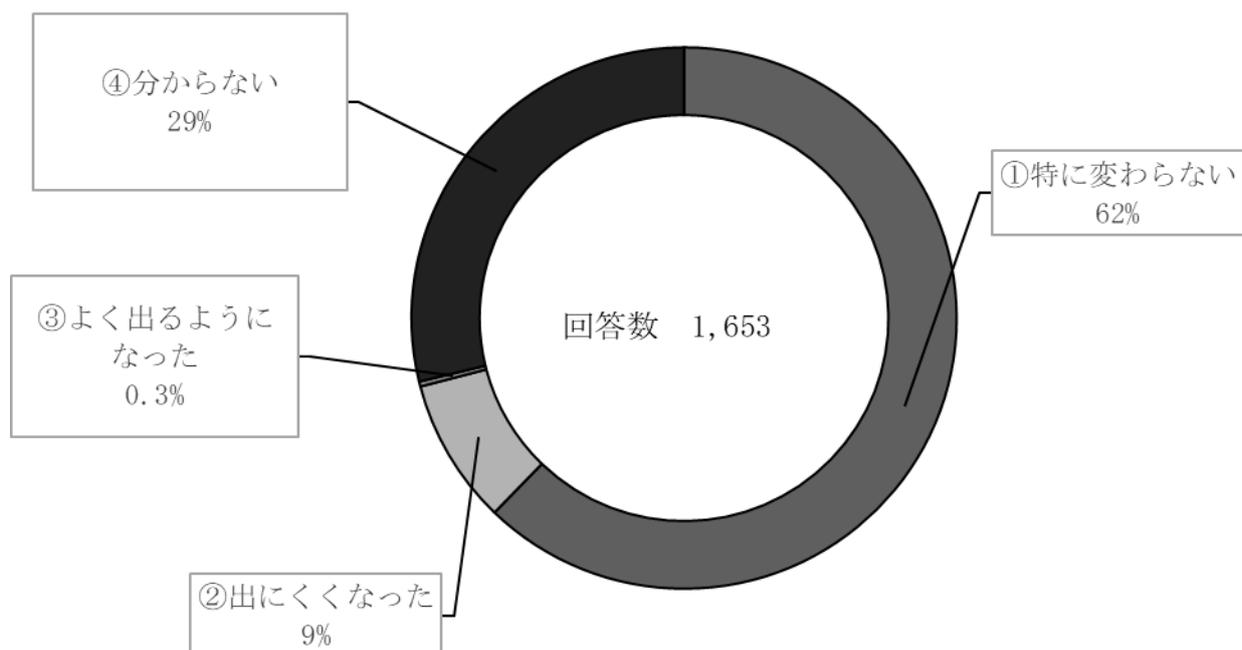


【図】地下水障害が生じたことのある事業所

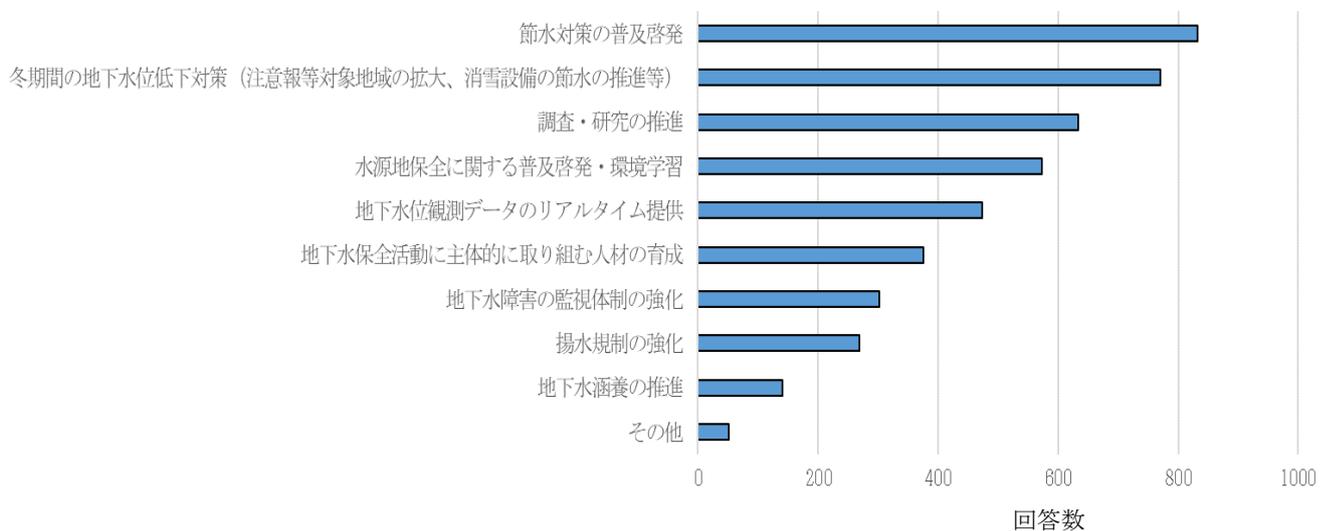
(5) 県では、地下水利用の多い富山市、高岡市などで地下水位観測データのリアルタイム提供を行っており、冬期の地下水位低下時に節水を呼びかけていますが、このような場合に節水への協力は可能ですか。



(6) 過去（10～20年前）と比較して、地下水の出やすさや水質、水温などに変化はありましたか。



(7) 今後、どのような施策に最も力を入れるべきと考えますか。（3つまで）



4 県政モニターアンケート結果

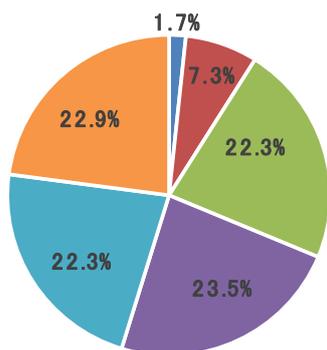
1 調査の概要

- (1) 調査期間：令和5年1月25日～令和5年2月9日
- (2) 調査方法：郵送、電子申請
- (3) 調査対象：県政モニター 195名
- (4) 回収数(率)：180名(92.3%)
- (5) 調査内容：地下水保全に関するアンケート

2 調査結果の概要

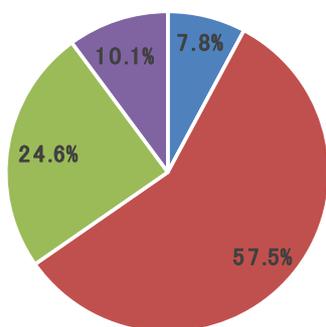
※ 回答率は、小数点第2位を四捨五入したため、合計が100%にならない場合があります。

問1 あなたの年齢について教えてください。



20歳代	1.7%	50歳代	23.5%
30歳代	7.3%	60歳代	22.3%
40歳代	22.3%	70歳以上	22.9%

問2 あなたのお住まいの地域を教えてください。

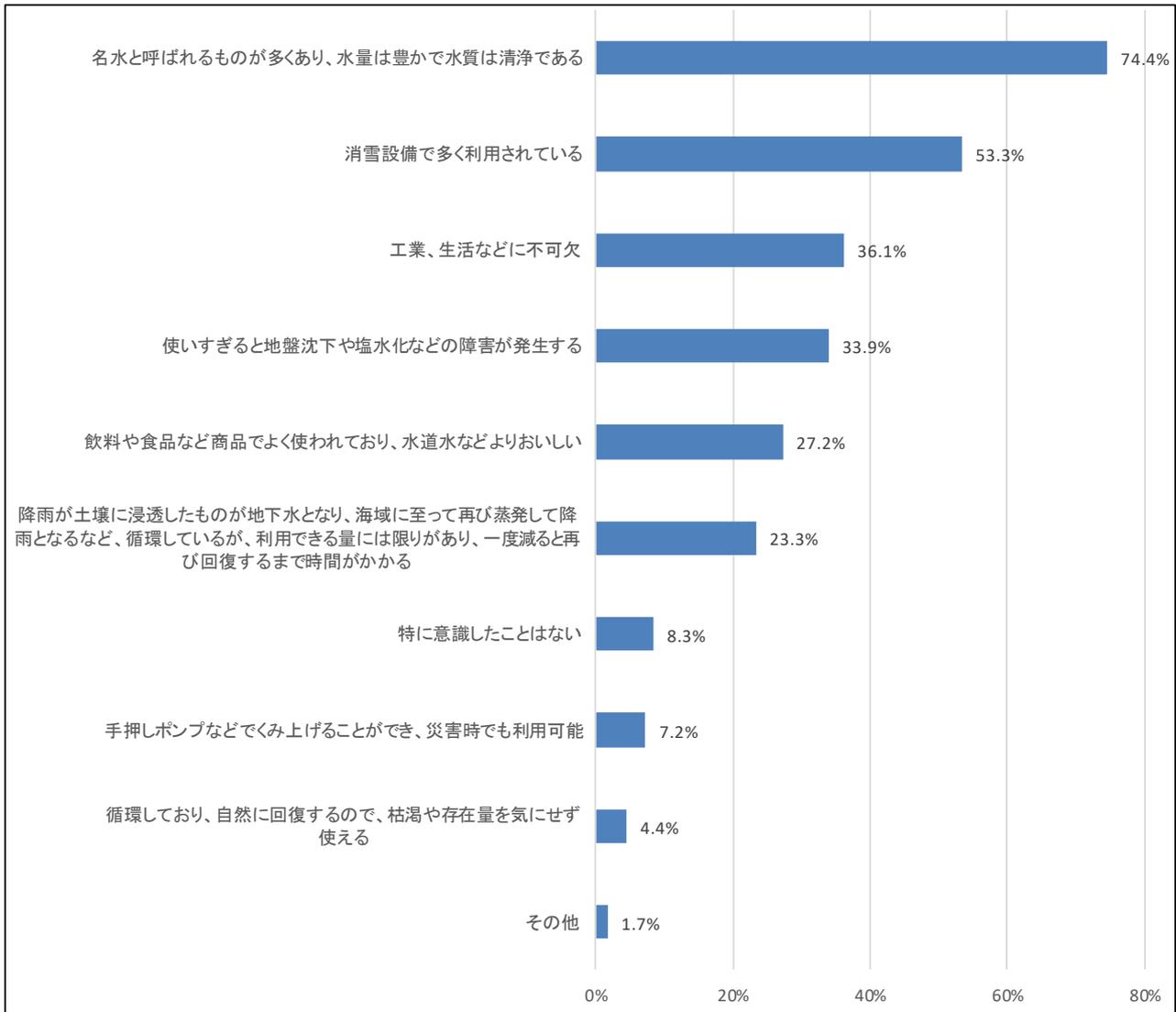


新川地域(魚津市、黒部市、入善町、朝日町)	7.8%
富山地域(富山市、滑川市、舟橋村、上市町、立山町)	57.5%
高岡・射水地域(高岡市、氷見市、射水市)	24.6%
砺波地域(砺波市、小矢部市、南砺市)	10.1%

問3

とやまの地下水についてお聞きします。

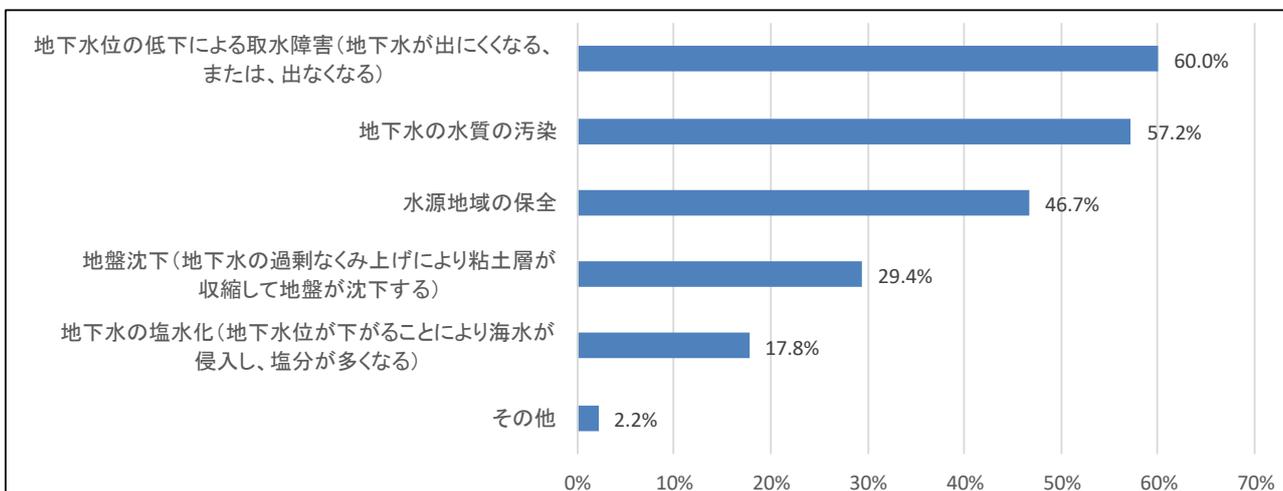
とやまの地下水について、どのようにお考えですか。(複数回答可)



問4

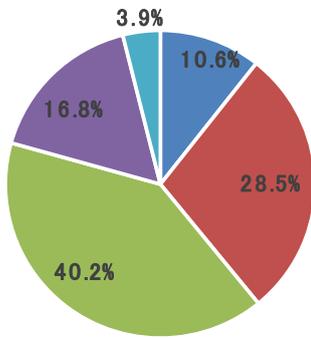
地下水に関する問題のうち最も関心のあるものはどれですか。

(複数回答可)



問5

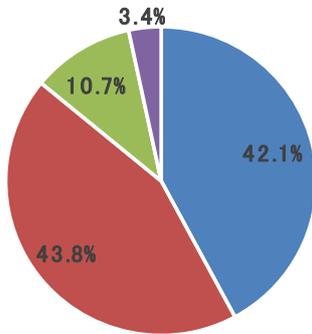
地下水を利用する消雪設備の節水について、どのようにお考えですか。



■ 道路交通を確保し、生活を守るためなので、消雪設備に節水対策を行う必要はない	10.6%
■ 地下水は大事だが、費用がかかると消雪設備を設置しにくくなるので、稼働時間の短縮など費用がかからない範囲で節水対策すべき	28.5%
■ 地下水保全と道路交通の確保等を両立するためには、節水タイマーやインバータの導入など費用がかかる節水対策も行うべき	40.2%
■ 地下水を使うと、飲用、工業用など他用途への支障や地盤沈下、塩水化が生じるおそれがあるので、ヒートパイプなど地下水以外の方法で消雪すべき	16.8%
■ その他	3.9%

問6

雨水などを人工的に地下に浸透させる地下水の涵養についてどのようにお考えですか。

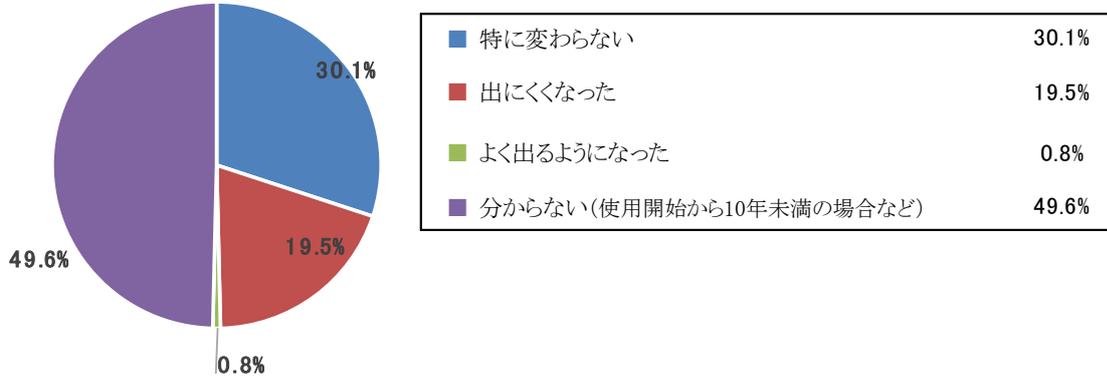


■ 地下水涵養は、日常的に多くの地下水を利用する工場などが雨水浸透や還元井(地下水を地中に戻すための井戸)により行うべき	42.1%
■ 地下水の水質汚染が不安なので、地下水涵養は、汚染のおそれがない土地(水田や遊休地、水源涵養林、工場敷地内の緑地など)で行うべき	43.8%
■ 一時的な地下水位の低下があっても今は自然に回復しているので、人工的に地下水を増やそうとするなど地下水環境の人為的な変化は避けるべき	10.7%
■ その他	3.4%

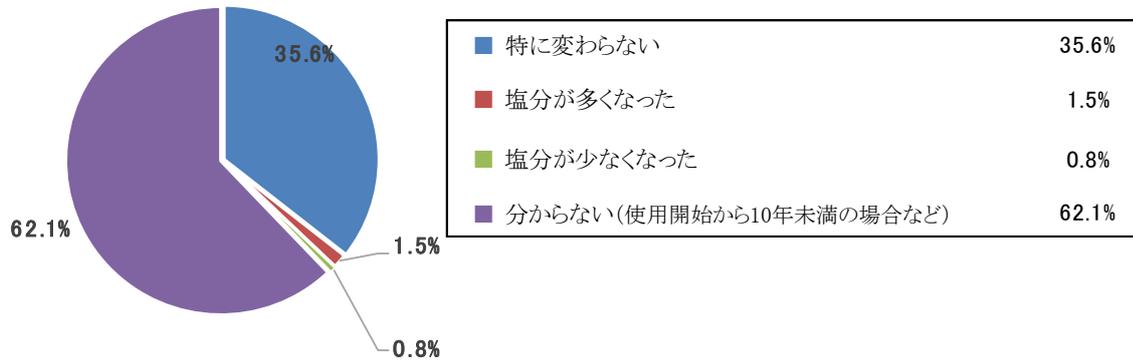
問7 地下水を利用されている方にうかがいます。

過去(10~20年前)と比較して、地下水の出やすさや水質、水温などに変化はありましたか。

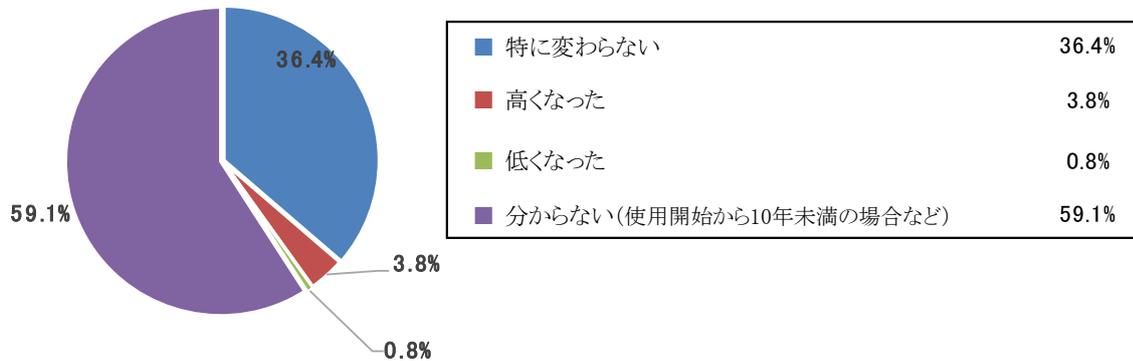
(1) 地下水の出やすさ



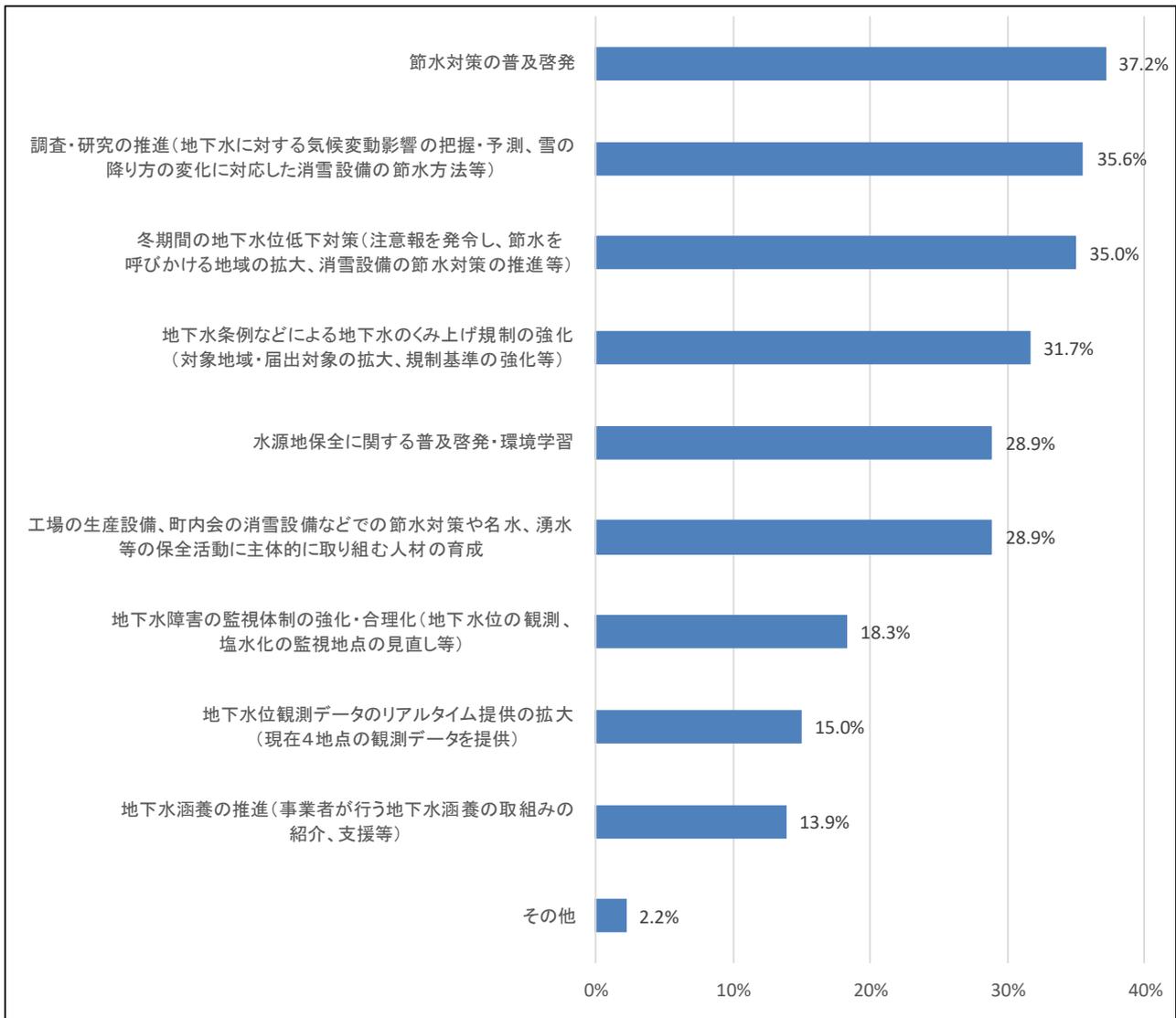
(2) 地下水の水質



(3) 地下水の水温

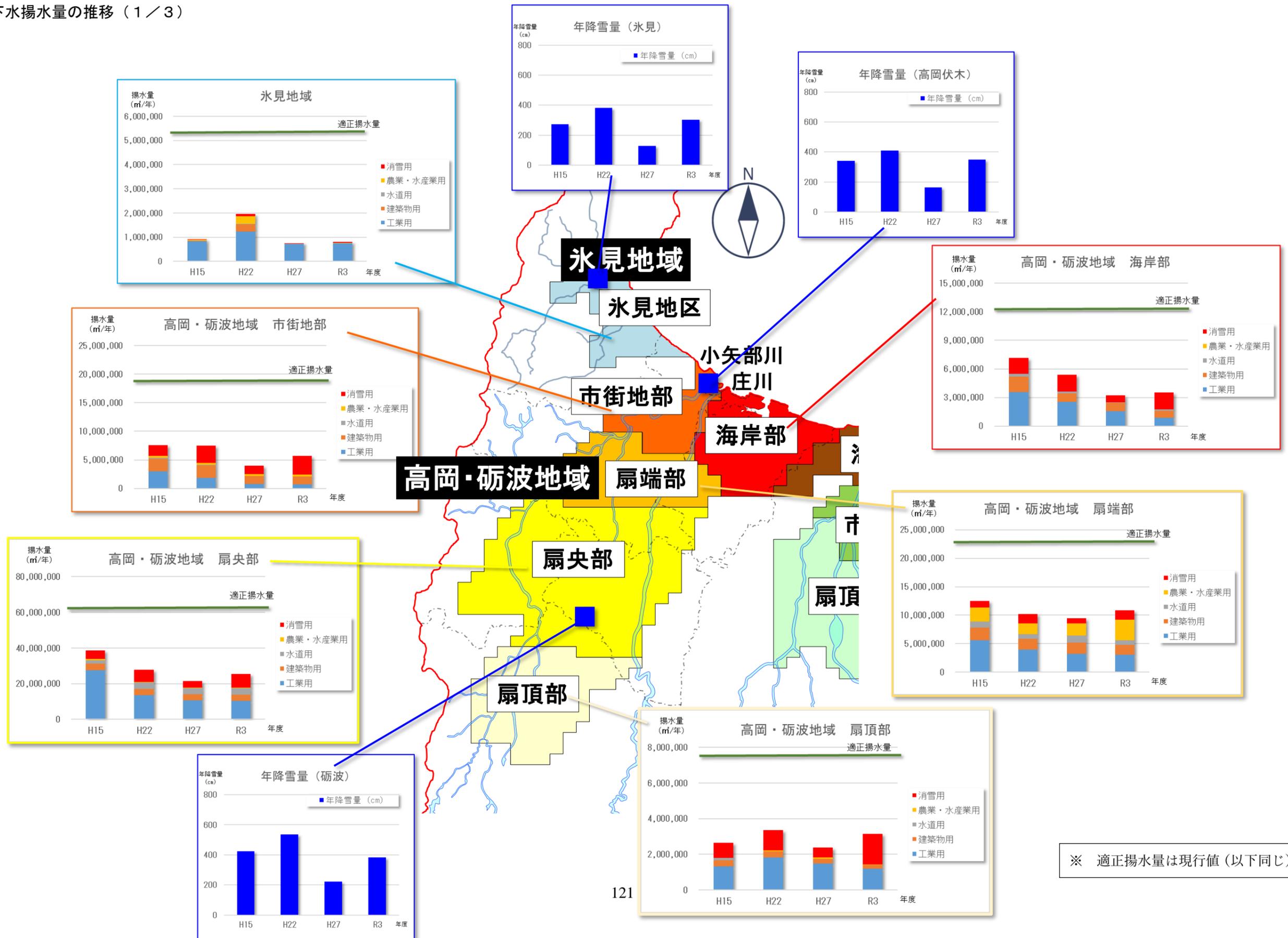


問8 (行政に対して) 今後、地下水に関するどのような施策に最も力を入れるべきと考えられますか。(複数回答可)



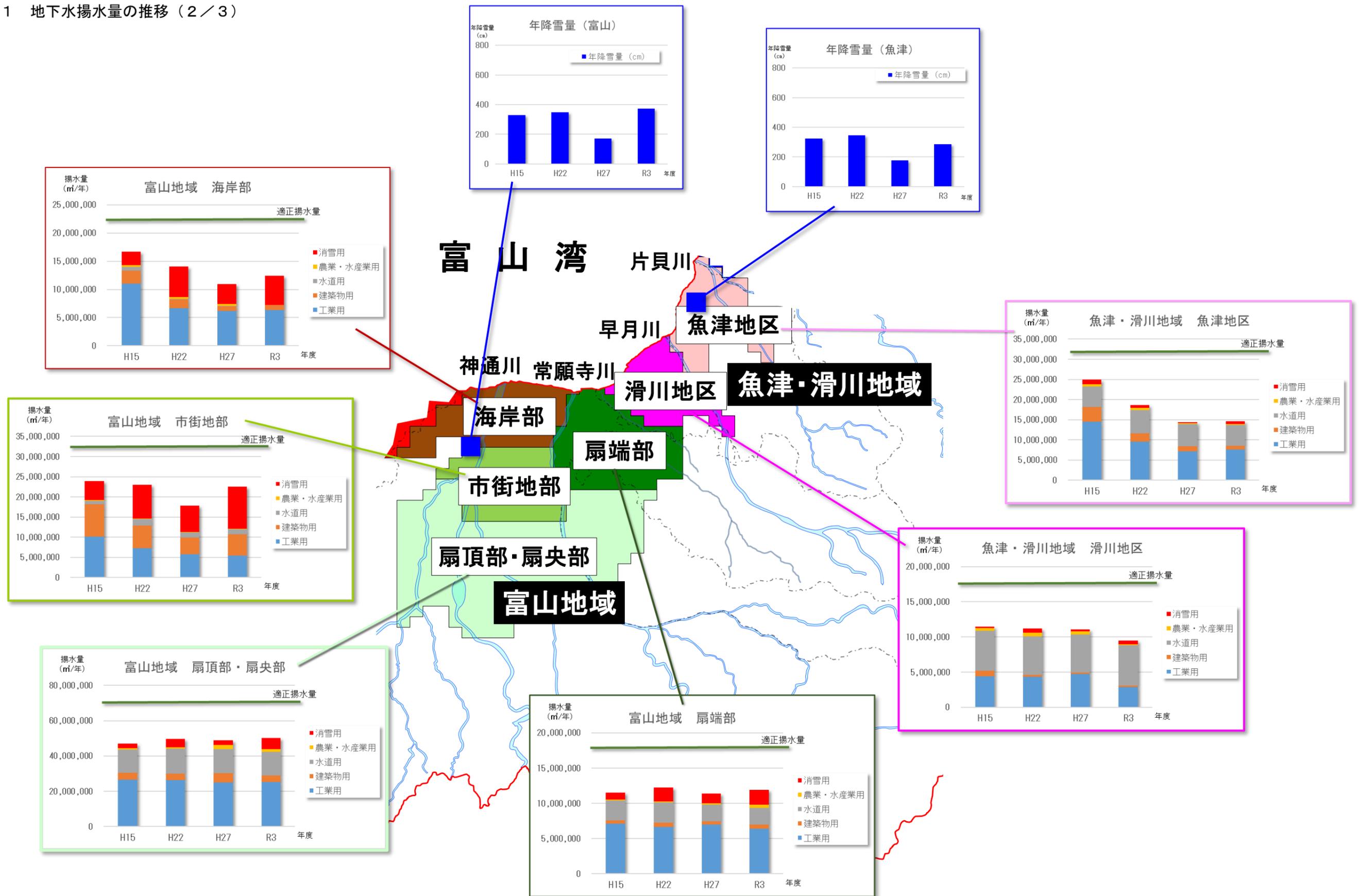
5 地下水の経年変化

1 地下水揚水量の推移 (1/3)

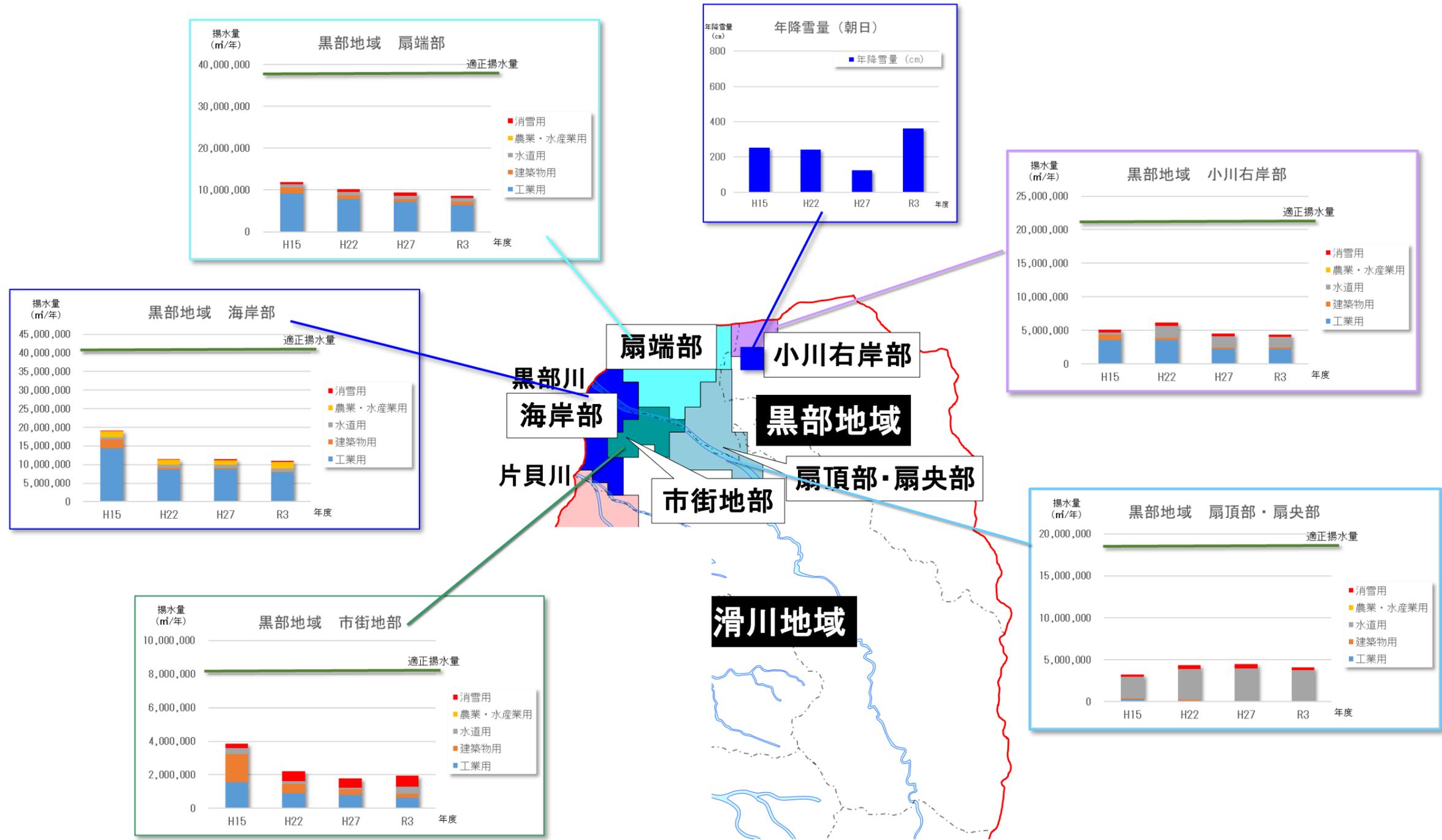


※ 適正揚水量は現行値 (以下同じ)

1 地下水揚水量の推移 (2 / 3)

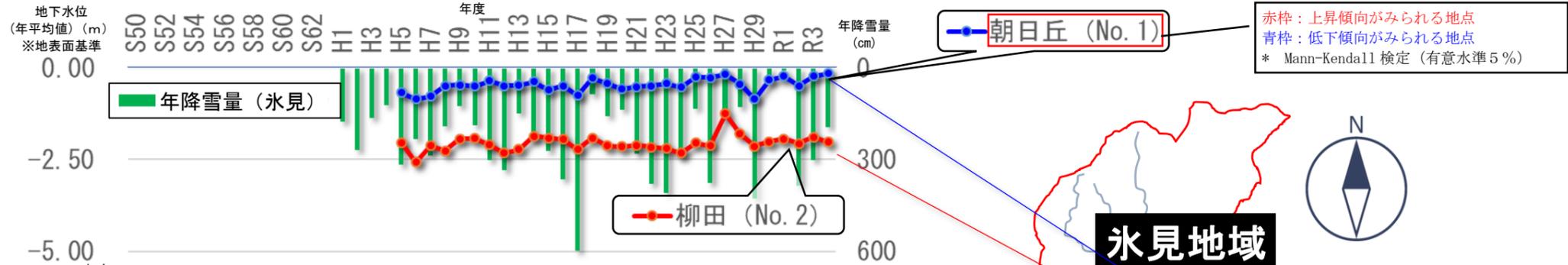


1 地下水揚水量の推移 (3 / 3)

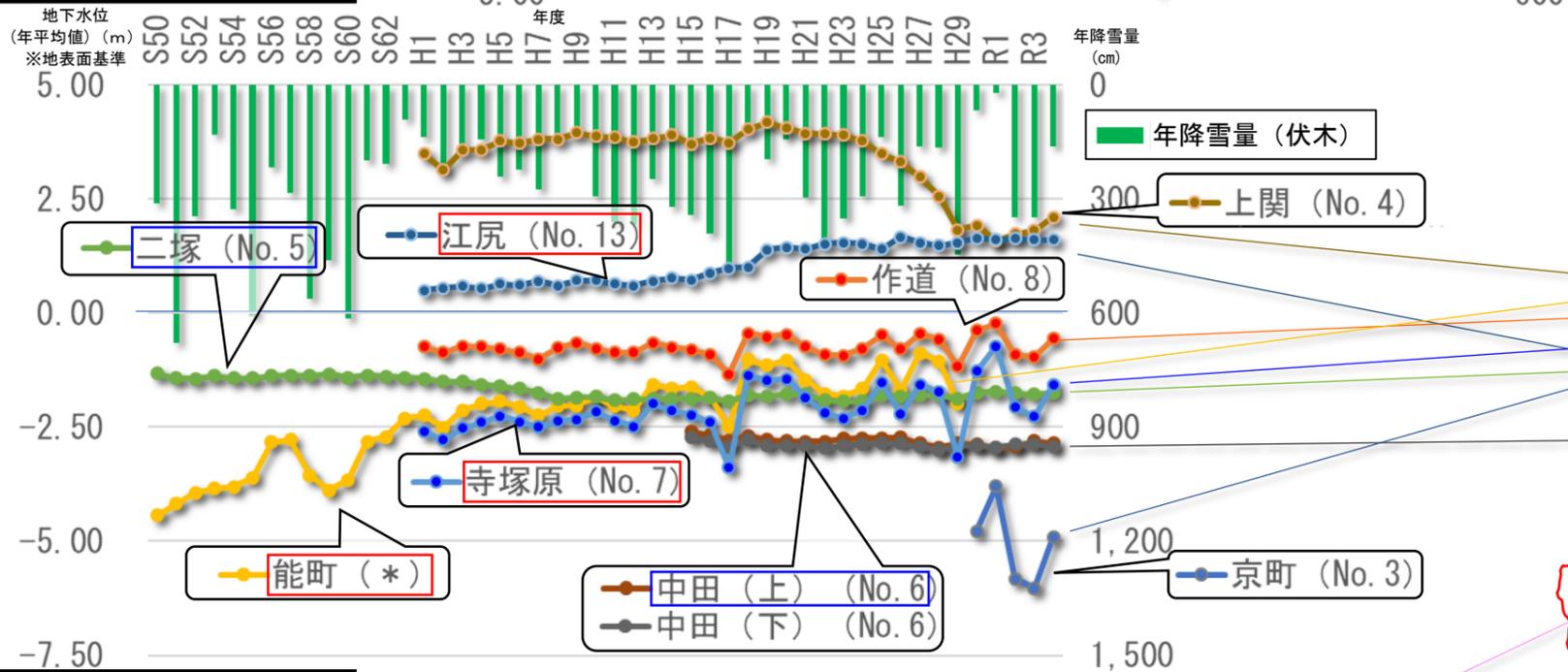


2 地下水位（年平均値）の推移（1／3）

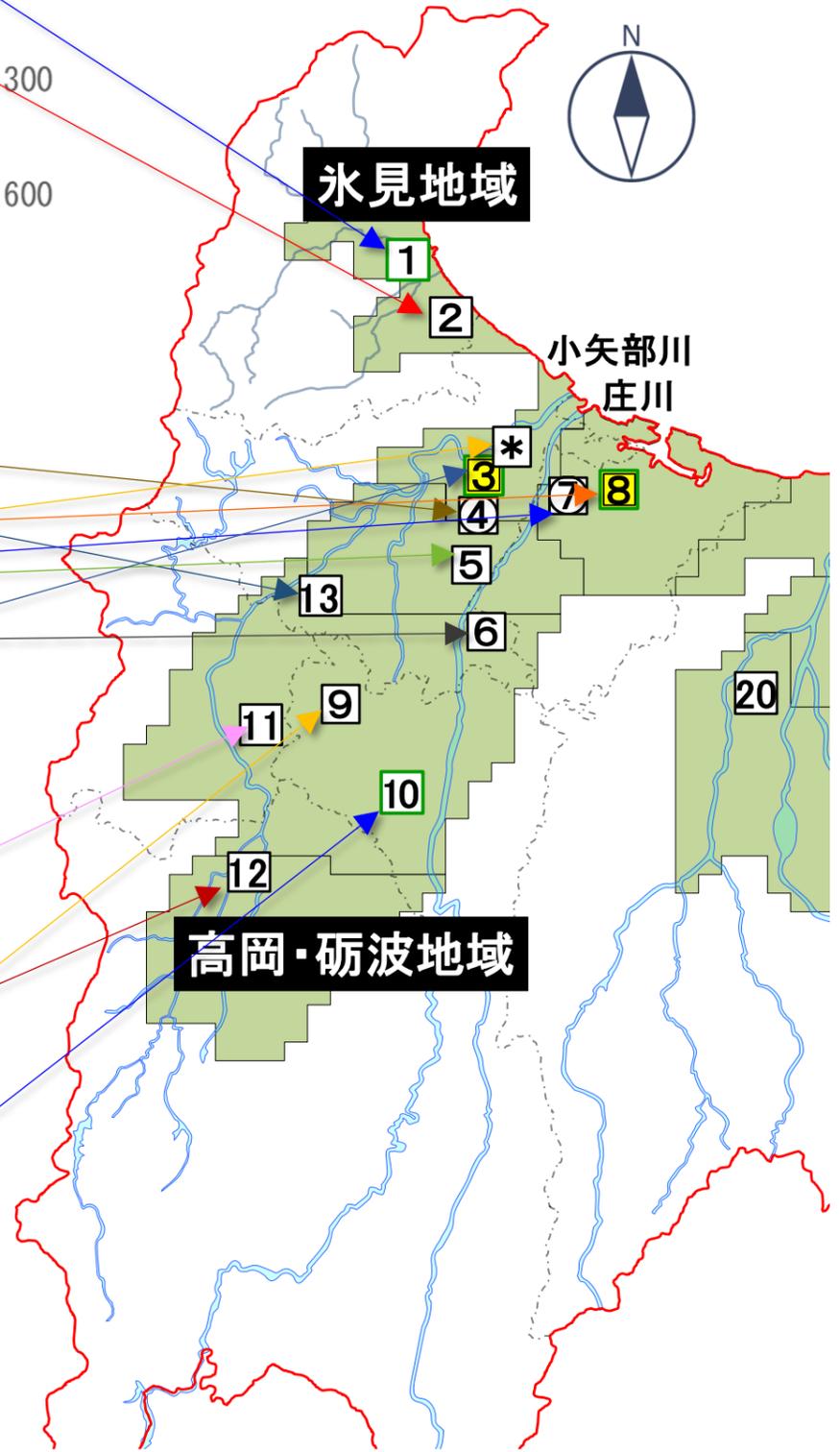
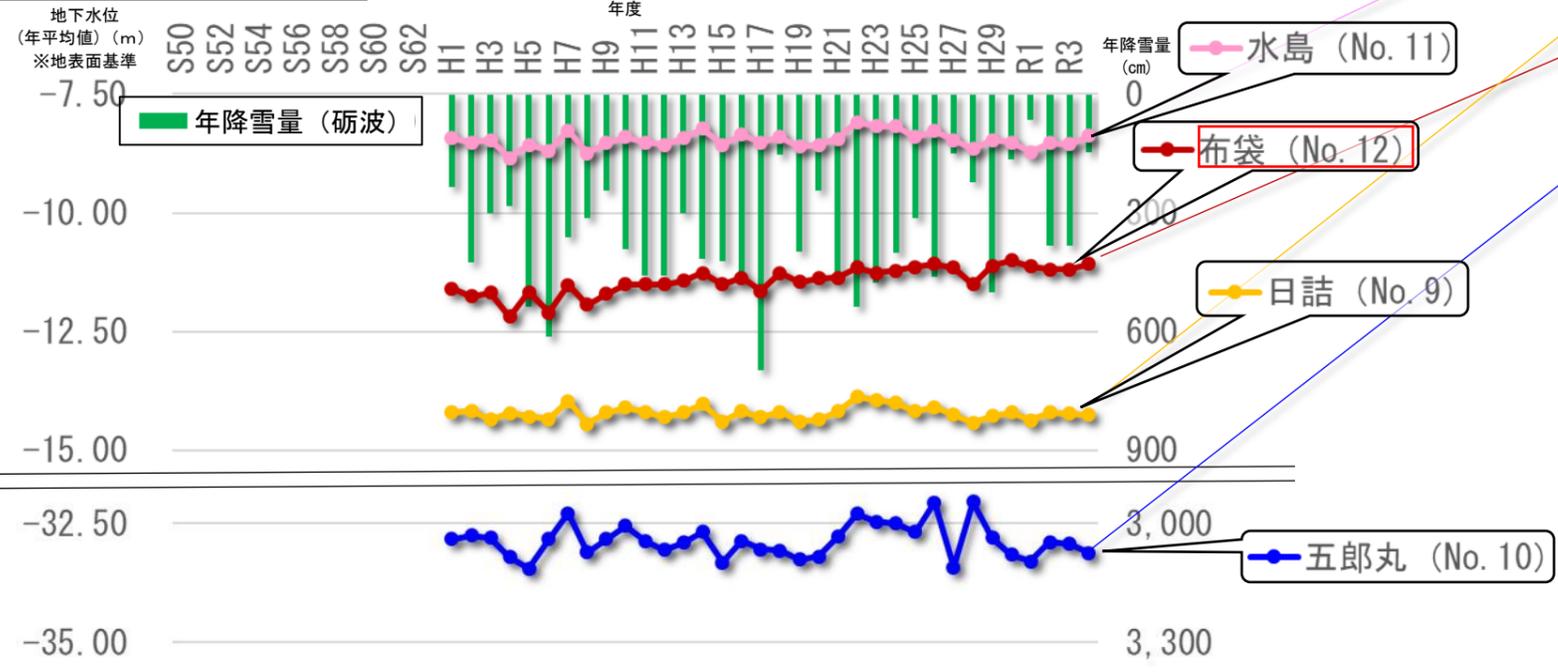
氷見地域



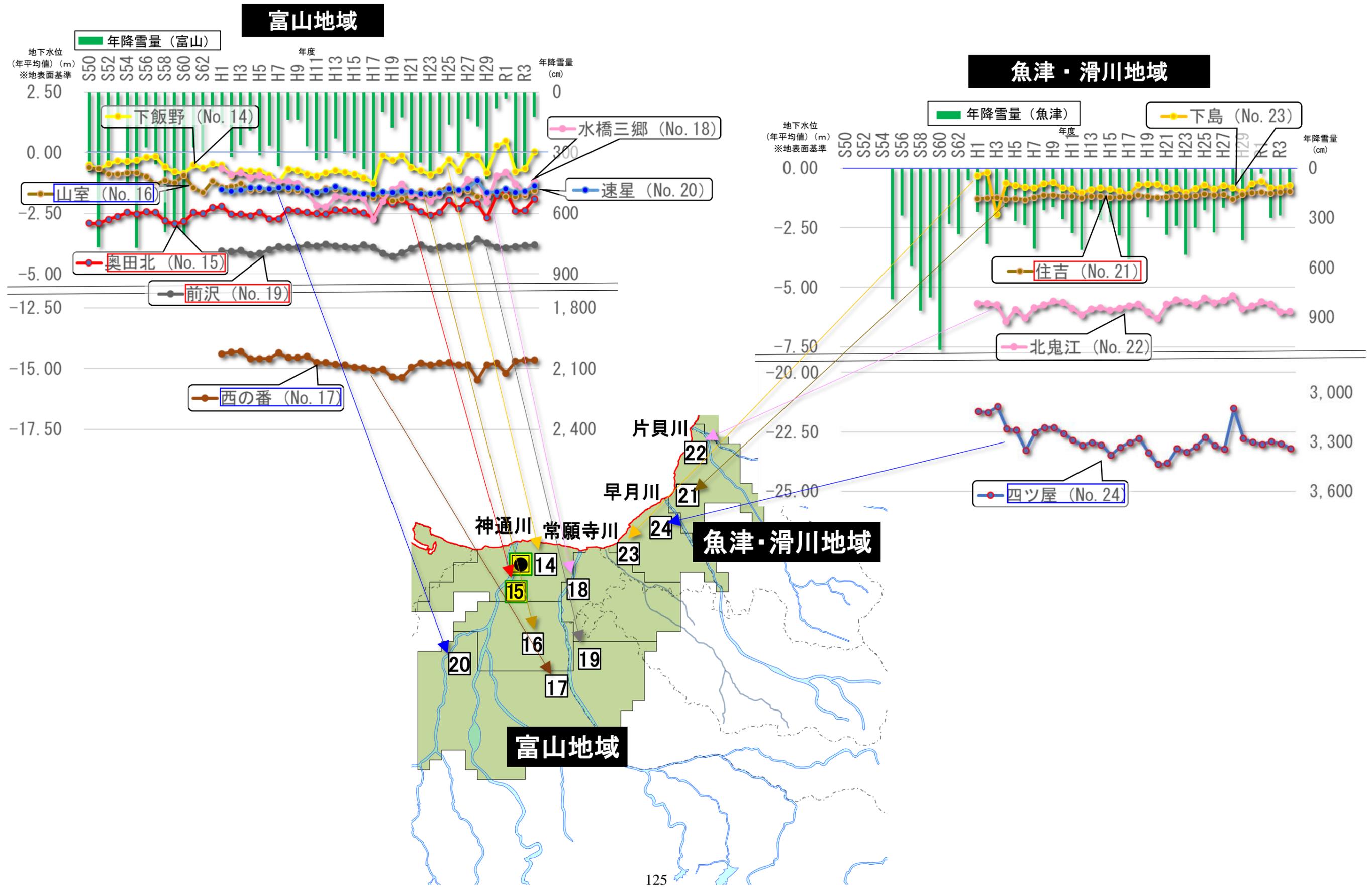
高岡・砺波地域①



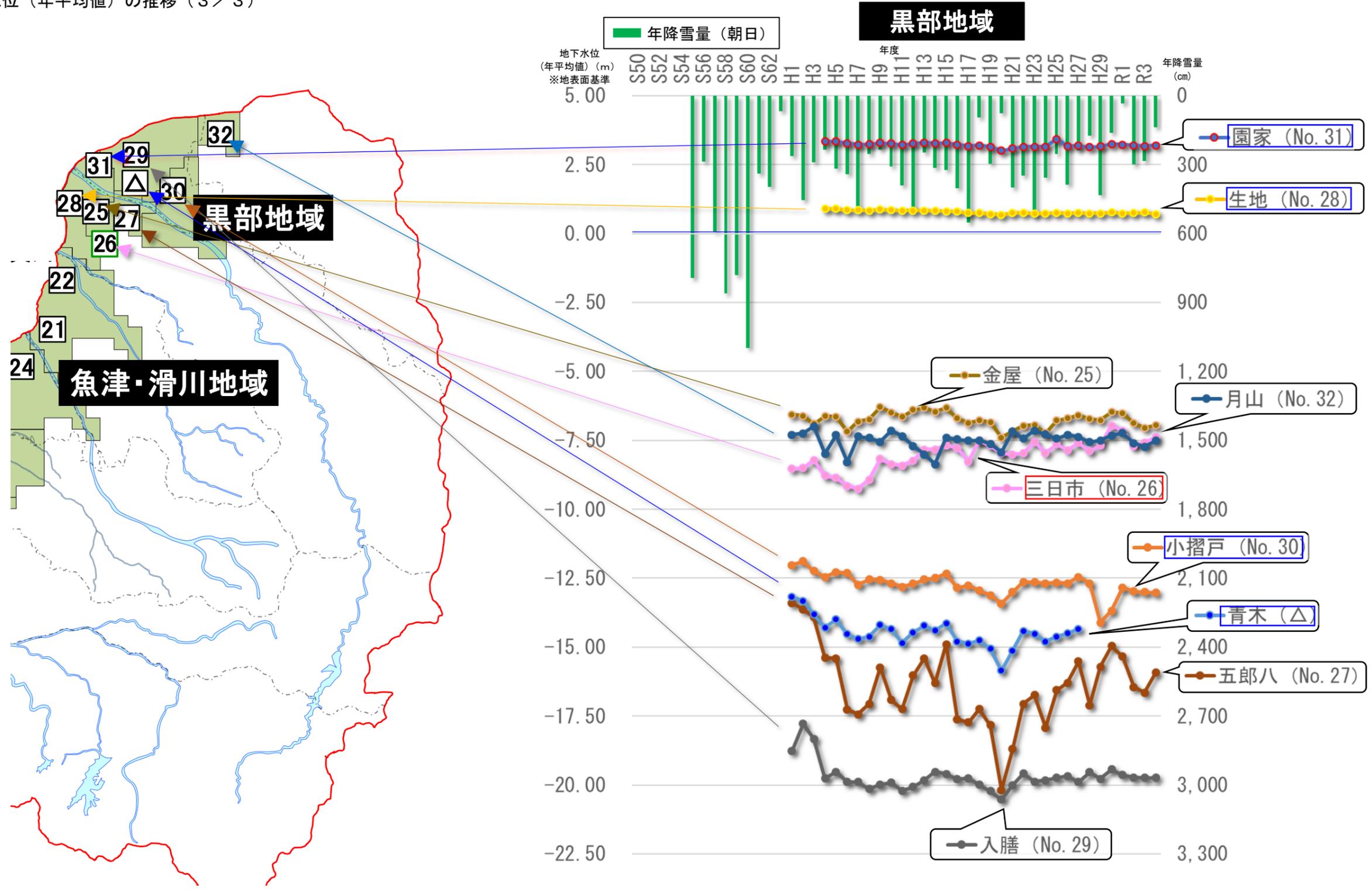
高岡・砺波地域②



2 地下水位（年平均値）の推移（2／3）



2 地下水位（年平均値）の推移（3／3）



とやまの名水マップ

新川地域

- ① 七重滝 ————— 5
- ② 杉沢の沢スギ ————— 6
- ③ 高瀬湧水の庭 ————— 7
- ④ 墓ノ木自然公園 ————— 8
- ⑤ 黒部峡谷 ————— 9
- ⑥ 十二貫野用水 ————— 10
- ⑦ 清水の里 ————— 11
- ⑧ 生地の共同洗い場 ————— 12
- ⑨ 名水公園の清水 ————— 13
- ⑩ 月見嶋の清水 ————— 14
- ⑪ 村椿(飛驒)の清水 ————— 15
- ⑫ 箱根の清水 ————— 16
- ⑬ 下立の霊水 ————— 17
- ⑭ 駒洗い池 ————— 18
- ⑮ 片貝川の清流 ————— 19
- ⑯ 魚津駅前の「うまい水」 ————— 20
- ⑰ てんこ水 ————— 21

富山地域

- ⑱ 行田の沢清水 ————— 22
- ⑲ 穴の谷の霊水 ————— 23
- ⑳ 弘法大師の清水 ————— 24
- ㉑ 大岩山日石寺の藤水 ————— 25
- ㉒ 上市川沿岸円筒分水場円筒水槽 — 26
- ㉓ 早月川の清流 ————— 27
- ㉔ 立山玉殿の湧水 ————— 28
- ㉕ 黒部湖 ————— 29
- ㉖ みくりが池 ————— 30
- ㉗ 常願寺川の清流 ————— 31
- ㉘ 称名滝 ————— 32
- ㉙ 岩室の滝 ————— 33
- ㉚ 松川 ————— 34
- ㉛ 石倉町の延命地藏の水 ————— 35
- ㉜ 中ノ寺の霊水 ————— 36
- ㉝ 有峰湖 ————— 37
- ㉞ 常西合口用水 ————— 38
- ㉟ 殿様清水 ————— 39

- ⑳ 八木山の滝 ————— 40
- ㉑ 神通峡 ————— 41
- ㉒ 桂の清水 ————— 42
- ㉓ 加持水 ————— 43
- ㉔ 花山寺の霊水 ————— 44
- ㉕ 朝日の滝 ————— 45

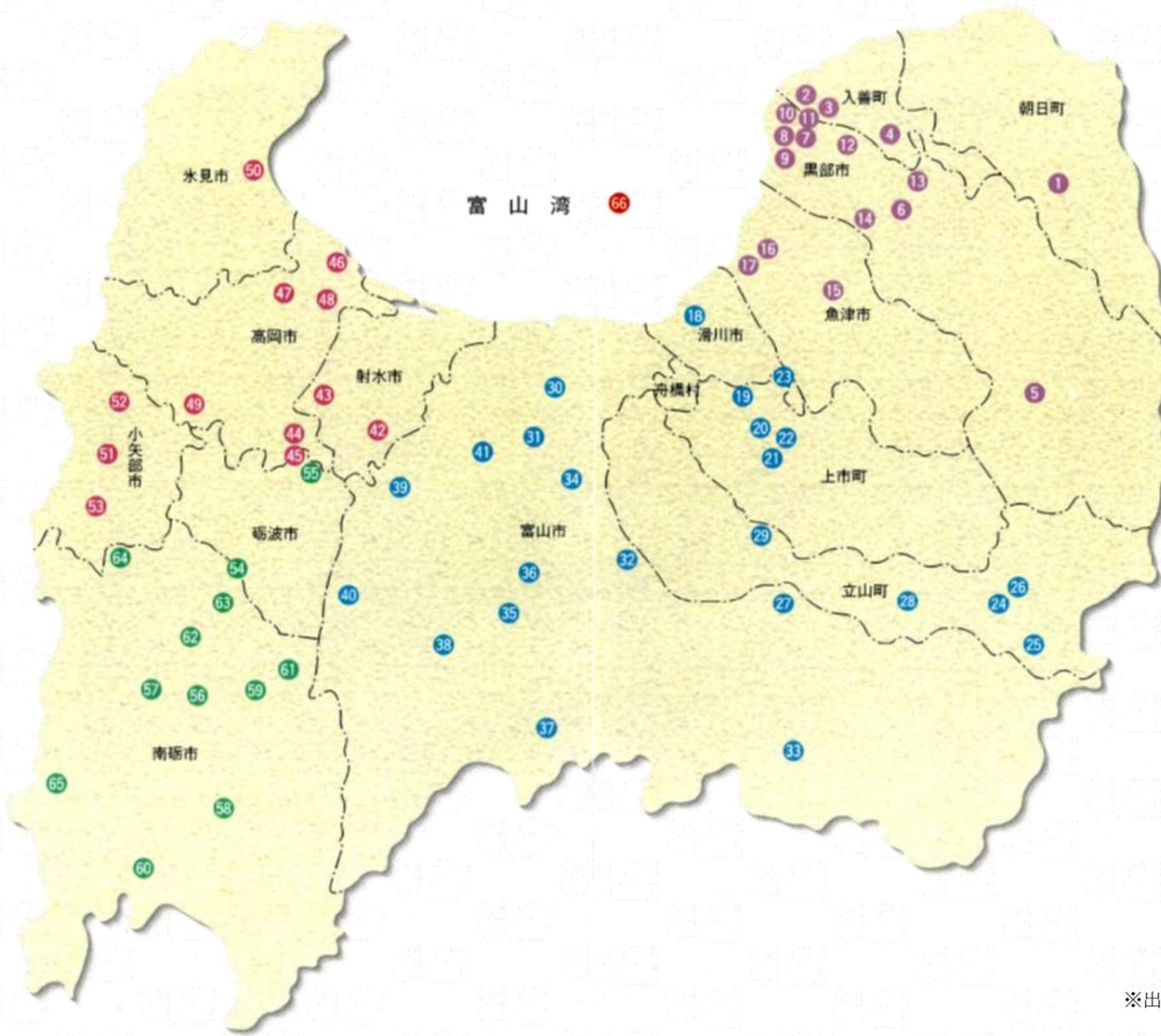
高岡・射水地域

- ㉖ 葉勝寺池 ————— 46
- ㉗ 誕生寺の誕生水 ————— 47
- ㉘ 弓の清水 ————— 48
- ㉙ 旧六ヶ用水 ————— 49
- ㉚ 気多神社の清泉 ————— 50
- ㉛ 影無し井戸 ————— 51
- ㉜ 高岡古城公園の水濠 ————— 52
- ㉝ 矢部の養鯉池 ————— 53
- ㉞ 上日寺の観音菩薩霊水 ————— 54
- ㉟ 鳩清水 ————— 55
- ㊱ 宮島峡 ————— 56
- ㊲ 大清水 ————— 57

砺波地域

- ㊳ 瓜裂清水 ————— 58
- ㊴ 又兵衛清水 ————— 59
- ㊵ 縄ヶ池 ————— 60
- ㊶ 桜ヶ池 ————— 61
- ㊷ 中江の霊水 ————— 62
- ㊸ 庄川峡 ————— 63
- ㊹ 丸池 ————— 64
- ㊺ 脇谷の水 ————— 65
- ㊻ 赤祖父池 ————— 66
- ㊼ 不動滝の霊水 ————— 67
- ㊽ 妃の清水 ————— 68
- ㊾ 小矢部川の長瀬 ————— 69

- ㊿ 富山湾の深層水 ————— 70



※出典「とやま水紀行 とやまの名水」(富山県 平成18年8月)

No.	名 称	所 在 地	区 分	説 明
1	しっちゃだき 七重滝	朝日町笹川	滝	約 60m の断層崖を七段に落下する雄大な滝。名勝として、古くから人々に親しまれています。
2	すぎさわ さわ 杉沢の沢スギ ■ 1	入善町吉原	湧水	黒部川扇状地扇端部の湧水地帯。沢スギが生い茂り、沢には地下水が白砂を上げて湧き出ています。
3	たかせ ゆうすい にわ 高瀬湧水の庭	入善町高瀬	湧水	黒部川右岸の自噴地帯における代表的な湧水で、清冷で豊富な量に恵まれています。県内外、他市町村からも多くの利用者がいます。
4	はか き しぜんこうえん 墓ノ木自然公園	入善町墓ノ木	その他	黒部川の清流や、自然をそのままの形で生かした河川敷に広がる約 22ha の公園であり、水と緑に親しみ、自然観察する格好の場所となっています。
5	くろべきょうこく 黒部峡谷	富山市、黒部市 立山町	河川	大小無数の溪流が黒部川の本流となり、岩を削り、日本で最も深く、そして幽玄な峡谷美を形作っています。
6	じゅうにかんの 十二貫野用水	黒部市	農業 用水	江戸時代に、椎名道三が高度な技術で開削した用水。一部の区間は、地域の文化遺産として復元・保存され、親水公園となっています。
7	しょうず さと 清水の里 ■ 2	黒部市吉田 (あいの風とやま 鉄道生地駅)	湧水	あいの風とやま鉄道生地駅前に湧き出る冷たく清らかな水。御影石で作られた水飲み場が整備され、乗降客や市民ののどを潤しています。
8	いくじ 生地の共同洗い場 ■ 3	黒部市生地	湧水	黒部川扇状地の豊富な湧水を利用し、地域住民が共同で管理している洗い場。人々の語らいの場ともなっています。
9	めいすいこうえん しょうず 名水公園の清水	黒部市生地中区	湧水	黒部漁港前の公園で「魚の駅」にも隣接していることから、毎年多くの人々が訪れており、名水がある公園として親しまれています。
10	つきみじま しょうず 月見嶋の清水	黒部市生地山新	湧水	新治神社の境内にある月見嶋の池に湧き出す清水。12 世紀ごろにあった「越之湖」の名残とされています。
11	むらつばき ひだ しょうず 村椿(飛驒)の清水	黒部市飛驒	湧水	黒部川扇状地にある豊富な水量と水の冷たさを誇る自噴井で、地域住民に愛され、大切に保全・整備されています。
12	はこね しょうず 箱根の清水	黒部市長屋	井戸	江戸時代に北陸街道を行き来した旅人がのどを潤した休憩所が、宇奈月へと上がる県道の脇で現代人ののどと心を潤しています。
13	おりたて れいすい 下立の霊水	黒部市宇奈月町 下立	湧水	地元地域住民はもちろん近隣市町村からも多くの人々が霊水として水を汲みに訪れます。付近一帯は、とやま森林浴の森に指定され、自然環境学習の場としても利用されています。
14	こまあら いけ 駒洗い池	黒部市嘉例沢	湧水	戦国時代の武将たちが馬を洗い清めた池と伝えられ、今も美しい清水をたたえています。

No.	名 称	所 在 地	区 分	説 明
15	かたかいがわ 片貝川の清流	魚津市	河川	万葉の歌人、大伴家持が「可多加比の川の瀬清く行く水の絶ゆることなくあり通ひ見む」と歌った清流です。
16	うおづえきまえ 魚津駅前の「うまい水」	魚津市釈迦堂 (あいの風とやま 鉄道魚津駅)	井戸	日本一うまい水と池田弥三郎教授が折り紙をつけた魚津の水。旅行者や市民に親しまれています。
17	てんこ ^{すい} 水	魚津市諏訪町、 本町	湧水	ちょうどごはんをてんこ盛りにしたように、川の底から水が湧き出るので、この名が付いたといわれます。
18	ぎょうでん さわしみず 行田の沢清水 ▲ 1	滑川市上小泉	その他	早月川の伏流水が湧き出した清水。付近一帯は、自然林に囲まれ、市民が水と緑に親しむ格好の散歩場所となっています。
19	あなたん れいすい 穴の谷の霊水 ■ 4	上市町黒川	湧水	行者が霊水として利用していたもので、この霊水を求めて全国から多くの人々が訪れます。
20	こうぼうだいし しみず 弘法大師の清水	上市町護摩堂	湧水	弘法大師ゆかりの清水で、地域の人々に利用されてきました。これを飲むと頭がよくなるといわれています。
21	おおいわさんにつせきじ ふじみず 大岩山日石寺の藤水	上市町大岩	湧水	古くから北陸の霊場として知られている大岩の不動。岩を回り出る藤水は、眼病に霊験有りとなんかに信じられてきました。
22	かみいちがわえんがんえんとう 上市川沿岸円筒 ぶんすいじょうえんとうぶんすいそう 分水場 円筒分水槽	上市町釈泉寺	農業 用水	上市川の沿岸域の水争いを解決するため整備されました。地元では、先人の技術と熱意を後世に伝えるため、保存に努めています。
23	はやつきがわ 早月川の清流	上市町、 滑川市、魚津市	河川	北アルプスの剣岳に源を持ち、全国屈指の急流河川となっており、富山湾に注いでいます。その河口の海は、ホタルイカ漁でにぎわうところです。
24	たてやまたまどの 立山玉殿の湧水 ■ 5	立山町室堂	湧水	立山黒部アルペンルートの立山トンネルの開通により噴出した湧水。2～5℃と非常に冷たく、水量も豊富です。
25	くろべこ 黒部湖	富山市、立山町	湖沼	日本一の高さを誇るアーチ式ダムによる人造湖。エメラルドグリーンの湖水に周囲の雄大な山々を映します。
26	みくりが池	立山町室堂	湖沼	標高2,400m、立山黒部アルペンルートにある神秘的な湖。青々とした水面に映える立山の雄姿は美しく、訪れる人々の心をなごませてくれます。
27	じょうがんじがわ 常願寺川の清流	富山市、立山町	河川	長さ56km、万年雪を頂く立山・薬師岳に源を発し、日本海に注ぐ、我が国屈指の急流河川です。
28	しょうみょうだき 称名滝	立山町芦峯寺ブナ坂	滝	日本一の落差350mを誇る大滝。4段になって落ちるその豪快さは、訪れる人を驚嘆させます。
29	いわむろ 岩室の滝	立山町虫谷	滝	落差24m、白布を垂らしたような滝。谷川が岩石の軟弱部を浸食後退してきたもので地質学上貴重な滝とされています。
30	まつかわ 松川	富山市	河川	富山市の中心部を流れます。ニシキゴイが群泳し、桜並木と彫刻が川べりを彩る市民の憩いの川となっています。

No.	名 称	所 在 地	区 分	説 明
31	いしくらまち えんめいじぞう 石倉町の延命地蔵の水▲2	富山市石倉町	井戸	いたち川の川べりにある延命地蔵の御手洗い水。万病に効く霊水ともいわれています。
32	なかのてら 中ノ寺の霊水	富山市上滝	湧水	弘法大師が祭られている祠の下から湧いている水。不老長寿、皮膚病に効く霊水といわれています。
33	ありみねこ 有峰湖	富山市有峰	湖沼	北アルプスの霊峰薬師岳に連なる山々の清流を集め、満々と水をたたえた湖です。湖面は美しい山々の姿を映しています。
34	じょうさいごうちょうすい 常西合口用水	富山市	農業用水	明治時代に、常願寺川左岸に12の用水を合併合口化してできた用水です。富山市の水道水源ともなっています。
35	とのさましょうず 殿様清水	富山市春日	湧水	昔、殿様が好んでこの湧水を飲んだことからこの名が付いたといわれます。今も茶人などに愛用されています。
36	やきやま 八木山の滝	富山市八木山	湧水	八木山の不動尊の祠から湧く水は、昔けものが傷をいやしたといわれ、現在は滝となり、絶えることなく落ちています。
37	じんづうきょう 神通峡	富山市	河川	飛騨盆地から富山平野に抜ける風光明媚な渓谷。県下屈指の景勝地で、県定公園となっています。
38	かつら しみず 桂の清水	富山市八尾町 大玉生	湧水	大玉生八幡社横にある樹齢千年といわれる桂の大木。その根元から沸き出す清冽な水で、人々の生活水として守られてきました。
39	かじすい 加持水	富山市婦中町 千里	湧水	常楽寺観音堂地内の湧水。聖観音が山田村から常楽寺へ移された時に湧き出てきたものと伝えられています。珍しい「ヒカリモ」があります。
40	かざんじ 花山寺の霊水	富山市山田若土	湧水	谷川沿いの岩間から湧き出る水。花山寺では水かけ地蔵を建立し、この清水を霊水としています。
41	あさひ たき 朝日の滝	富山市婦中町 安田	湧水	この滝は、霊験があり不治の病も治すといわれ、親しまれてきました。江戸時代中期～後期には、全国から大勢の参拝者が訪れ、参道には、茶店や旅籠も立ち並んでいたといえます。
42	やくしょうじいけ 薬勝寺池	射水市中太閤山	湖沼	かんがい用のため池として、約500年前に作られたと伝えられています。現在は薬勝寺池公園として、地域住民の憩いの場となっています。
43	たんじょうじ たんじょうすい 誕生寺の誕生水	射水市島	井戸	約600年前、法華宗の開祖日隆聖人が誕生の折に湧出したといわれる清泉。聖人の産湯とされたことから「誕生水」と名付けられました。
44	ゆみ しょうず 弓の清水 ▲3	高岡市中田常国	湧水	木曾義仲が、平家との戦いのとき、部下の進言により弓矢を射ったところ湧き出た清水と伝えられています。
45	きゅうろつ かようすい 旧六ヶ用水	高岡市滝	農業用水	地元住民と小・中学生の保存活動により、毎年ホタルが飛び交うようになり、観察会には多くの参加者があります。付近一帯は、県の天然記念物（ゲンジボタル等の生息地）に指定されています。
46	けたじんじや せいせん 気多神社の清泉	高岡市伏木一宮	湧水	大伴家持が住んだ万葉の里。杉木立にかこまれた岩壁から清泉が出ています。

No.	名 称	所 在 地	区分	説 明
47	かげなし井戸	高岡市末広町	井戸	高岡市の中心部にあり、200年以上前に親孝行の六兵衛が掘ったと伝えられています。市民により大切に保存されています。
48	たかおかこじょうこうえん 高岡古城公園の すいごう 水濠	高岡市古城	その他	前田利長の築いた城で設計者は高山右近と伝えられています。約 67,000m ² の水濠は満々と水をたたえ、四季を通じて美しい景観を映しています。
49	やべ ようりち 矢部の養鯉池	高岡市福岡町 矢部	その他	庄川の伏流水が湧く矢部地内では、豊富な地下水を利用して、観賞用や食用のコイが盛んに養殖されています。
50	じょうにちじ 上日寺の かんのんぼさつれいすい 観音菩薩霊水	氷見市朝日本町	湧水	古くより、無病長寿に効く霊水といわれています。側には、国の天然記念物の大イチョウがそびえ立っています。
51	はとしみず 鳩清水	小矢部市埴生	湧水	埴生護国八幡宮の境内にあり御手洗水などに利用されています。年中枯れることなく、参拝者に潤いを与えています。
52	みやじまきょう 宮島峡	小矢部市宮島	河川	小矢部川の支流、子撫川の清流に沿った谷間。小さなナイアガラといわれる壮観な「一の滝」をはじめ、多くの滝や淵からなっています。
53	おおしょうず 大清水	小矢部市臼谷	湧水	底から清水が白砂を上げて湧き出しています。池には、市の天然記念物に指定されているアシツキが自生しています。
54	うりわりしょうず 瓜裂清水	砺波市庄川町 金屋	湧水	綽如上人の馬のひづめが陥没してできたという故事があります。瓜を冷したところ、あまりの冷たさに自然に裂けたことから命名されました。
55	またべえしみず 又兵衛清水	砺波市増山	湧水	増山城築城の折、家臣の山名又兵衛が発見したと伝えられます。城跡を訪れるハイカーに親しまれています。
56	なわがいけ 縄ヶ池	南砺市叢谷	湖沼	三方を原生林に囲まれた天然湖。四季を通じて清澄な水を満々とたたえ、水辺には天然記念物のミズバショウが群生しています。
57	さくらがいけ 桜ヶ池	南砺市立野原	湖沼	池の周囲に桜の木が多いことからこの名が付けられました。春の新緑、秋の紅葉など水と緑に恵まれた自然を満喫できます。
58	なこえ 中江の霊水	南砺市中江	湧水	「水神様の水」とも呼ばれ、村の祭神「水波廻女神」を祭った社の床下から湧出している神聖な水です。
59	しょうがわきょう 庄川峡	砺波市、南砺市	河川	小牧ダム湖を中心とする周辺一帯は県定公園に指定されています。四季織りなす景観は見事です。
60	まるいけ 丸池	南砺市新屋	湧水	合掌造りで知られる越中五箇山。浄土真宗を広めた赤尾道宗の信心による湧水の池です。
61	わきたに 脇谷の水	南砺市利賀村 栗当	湧水	脇谷橋の橋詰にある御地藏様の祠から湧き出しています。住民やドライバーに親しまれています。
62	あかさぶいけ 赤祖父池	南砺市川上中	湖沼	赤祖父川の水をせき止めてできたかんがい用の貯水池。ヘラブナ釣りの名所で釣り大会等により親しまれています。

No.	名 称	所 在 地	区 分	説 明
63	ふどうだき 不動滝の霊水 ▲4	南砺市大谷	湧水	岩から清らかな水が噴出しています。古くから、かんばつを救った霊水として大切にされてきました。
64	ひ しょうず 妃の清水	南砺市安居	湧水	安居寺の下を流れる御手洗川の川沿い、切り立った岩壁の割れ目から枯れることなく湧き出ています。
65	おやべがわ ながとろ 小矢部川の長瀨	南砺市中河内	河川	小矢部川上流の峡谷。奇岩がそそり立ち、岩肌に松、桧が盆栽のように生える光景は水墨画を思わせます。
66	とやまわん しんそうすい 富山湾の深層水	取水地： 滑川市、入善町	その他	「富山湾の深層水」は、冷たく清浄で、ミネラル分を豊富に含んでいることから、未知の可能性を秘めた新しい地域の資源として、大きな注目を集めています。

- (注) ■印は昭和 60 年 3 月に環境庁の「名水百選」に選定されたものである。
(うち ■ 1 ～ ■ 3 は全国名水百選「黒部川扇状地湧水群」として選定されたものである。)
- ▲印は平成 20 年 6 月に環境省の「平成の名水百選」に選定されたものである。
(うち ▲ 2 は平成の名水百選「いたち川の水辺と清水」として選定されたものである。)

7 地下水利用対策協議会の状況

1 概要

「地下水利用対策協議会」は、地下水障害の発生地域又はその恐れのある地域を対象に、地下水利用適正化調査を実施するとともに、地下水の適正かつ合理的利用の推進を目的として、通商産業省（当時）の指導により設置されたものである。

本県においては、表7-1のとおり、庄川・小矢部川地域、富山地域、魚津・滑川地域及び黒部川地域に協議会が設立されており、県と各協議会が連携・協力して、地下水の保全・適正利用に関する啓発等の活動を展開している。

表7-1 地下水利用対策協議会の概要（令和4年度）

名 称	庄川・小矢部川地域 地下水利用対策協議会	富山地域地下水 利用対策協議会	魚津・滑川地域地下水 利用対策協議会	黒部川地域地下水 利用対策協議会
設立年月日	昭和62年9月28日	昭和50年2月7日	平成元年5月15日	平成3年2月20日
対象地域	高岡市、射水市、 砺波市、小矢部市、 南砺市 (5市)	富山市、舟橋村、 上市町、立山町 (1市2町1村)	魚津市、滑川市 (2市)	黒部市、入善町、 朝日町 (1市2町)
会 員 数	76	100	58	63
会 長	高岡市長 角田悠紀	富山市長 藤井裕久	魚津市長 村椿晃	黒部市長 大野久芳
事 務 局	高岡市環境政策課	富山市環境保全課	魚津市生活環境課	入善町住民環境課
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 地下水の過剰揚水の制限 地下水利用の合理化の啓発 地下水に関する各種調査 工業用水の整備導入の促進 地下水保全と創水意識の高揚 地下水涵養の実施 研修会の開催 等 	<ul style="list-style-type: none"> 地下水の過剰揚水の制限 地下水利用の合理化の啓発 地下水に関する各種調査 工業用水の整備導入の促進 地下水涵養の実施 講演会及び研修会の開催 等 	<ul style="list-style-type: none"> 地下水利用の合理化の啓発 地下水に関する各種調査 地下水涵養の実施 研修会の開催 等 	<ul style="list-style-type: none"> 地下水利用の合理化の啓発 地下水に関する各種調査 地下水涵養の実施 研修会の開催 等
備 考	庄川下流地域地下水利用対策協議会（昭和45年5月25日設立）を拡大したもの			

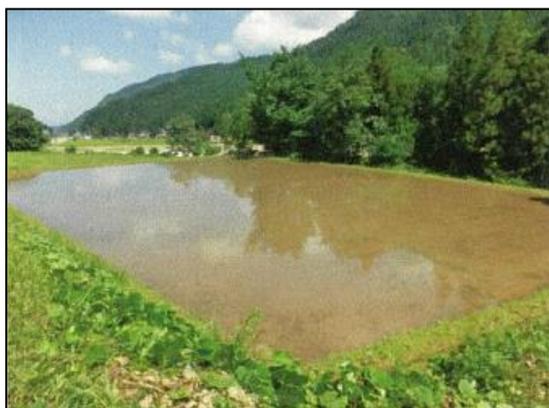
2 水田を用いた地下水涵養事業

水田を用いた地下水涵養事業の令和4年度での実施状況は表7-2のとおりである。

県としては、これまでに実施した涵養モデル事業の成果を踏まえ、涵養手法・結果等を取りまとめた「地下水涵養マニュアル」や、涵養実施に当たって必要となる手続きを取りまとめた「地下水涵養の手引き」等を活用して、各地下水利用対策協議会の取組みに対して技術的な支援を行った。

表7-2 県内の地下水涵養実施状況（令和4年度）

地域	年度	実施主体	実施場所	面積[m ²]	涵養量[m ³ /日]
庄川・小矢部川地域 (高岡、射水、砺波、小矢部、南砺)	H17～	砺波市	砺波市柳瀬	4,430	464
	H30	庄川・小矢部川流域地下水利用対策協議会	南砺市打尾	13,462	296
魚津・滑川地域 (魚津、滑川)	H17～	魚津市、魚津・滑川地下水利用対策協議会	魚津市東蔵地区	37,017	6,200
黒部川地域 (黒部、入善、朝日)	H28～	黒部川地下水利用対策協議会	朝日町殿町	6,850	110
富山地域 (富山、舟橋、上市、立山)	H30～ R元	富山地域地下水利用対策協議会	立山町四谷尾	5,755	65



魚津・滑川地域地下水利用対策協議会での涵養事業（魚津市内）



黒部川地域地下水利用対策協議会での涵養事業（朝日町内）